

⑥2

I

2025年度

世界史

問題冊子（1～12ページ）

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見ないこと。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし，解答に関係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (4) 解答用紙上部に印刷してある受験学部・学科コード，受験番号，氏名(カタカナ)を確認し，氏名欄に氏名(漢字)を記入すること。もし，印刷に間違いがあった場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。

〔解答用紙記入例（選択式の場合）〕

例 1. 「語群」が二桁で (11) 大阪 (12) 佐賀 (13) 長崎 (14) 東京 とある場合

問 X	A		B		C	
	16	17	18	19	20	21
	/	2	/	4	/	/

Aの解答が佐賀の場合

Bの解答が東京の場合

Cの解答が大阪の場合

例 2. 「語群」が一桁で (1) 大学 (2) 中学校 (3) 高校 (4) 小学校 とある場合

問 X	a	b	c
	51	52	53
	/	4	2

aの解答が大学の場合

bの解答が小学校の場合

cの解答が中学校の場合

〔Ⅰ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

シチリア島は地中海のほぼ中央に位置する、この海域で最大の島である。シチリア島には紀元前 8 世紀頃までにはフェニキア人やギリシア人の植民市が築かれていた。それらの植民市のなかでも、前 734 年頃に島の東部に建設されたギリシアの植民市であるシラクサは最も繁栄したポリスの一つとなった。イデア論で知られるギリシアの哲学者(あ)は、その後半生にシラクサを三度訪れている。また、「浮体の原理」で知られるギリシアの物理学者・数学者(い)はこのシラクサの出身である。前 431 年、スパルタとアテネの間でペロポネソス戦争が起きた。その際、アテネ側は 130 隻以上もの大船団を送ってシラクサに攻撃をしかけたものの、シラクサはこれを迎え撃ってアテネの軍勢をほぼ全滅させた。このペロポネソス戦争の様子はギリシアの歴史家(う)が記録している。

前 264 年から前 146 年にかけて、ローマとカルタゴとの間で 3 回にわたるポエニ戦争が起きた。この戦争でローマがカルタゴに勝利した結果、シチリア島はローマの属州となり、シチリア島全土がローマの支配下に入った。しかし、紀元後 395 年に ローマ帝国が東西に分裂し、西ローマ帝国の統治力が衰退すると、西ローマ帝国の領土内にゲルマン人の国家が成立するようになった。シチリア島にもゲルマン人の一派であるヴァンダル人や東ゴート人が進出したが、6 世紀になると、ビザンツ帝国(東ローマ帝国)の皇帝(え)がヴァンダル王国や東ゴート王国を滅ぼして地中海世界の覇権を握り、シチリア島はビザンツ帝国領となった。

そのビザンツ帝国の手からシチリア島を奪ったのは、イスラーム勢力であった。イスラーム教の創始者であるムハンマドが 632 年に亡くなると、初代正統カリフの(お)のもとで、イスラーム勢力はその支配領域を拡大していった。イスラーム勢力は 642 年の戦いでササン朝ペルシアを破り、その領地をすべて支配下に置くと、さらに、ビザンツ帝国領だったシリア、エジプト、チュニジアを征服していった。このようなイスラーム勢力の急速な領土拡大の波に、シチリア島も巻き込まれる。827 年、アッバース朝の宗主権下にあったアグラブ朝の艦隊がシチリア島への侵攻を開始し、902 年にはシチリア島全土がイスラーム勢力の支配下に入った。イスラーム勢力によるシチリア島支配は 12 世紀まで続いたが、その後、シチリア島には ノルマン人たちが進出し、シチリア王国が建てられた。

このように、シチリア島には古来、様々な民族が侵入し、目まぐるしく支配者が変わってきた。そのためシチリア島は数多くの民族が戦火を交える場所となったが、同時に異なる文明や文化が交錯し交流する場ともなり、12 世紀ルネサンス^(f)の主要な舞台の一つとなったのである。

問 1 文中の空欄(あ)～(お)にあてはまる最も適切な人名を、下記の語群の中から選び、その番号を別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (11) アISKYロス | (12) アブー＝バクル |
| (13) アリー | (14) アリストテレス |
| (15) アルキメデス | (16) アントニヌス＝ピウス |
| (17) ウマル | (18) エウクレイデス |
| (19) コンスタンティヌス | (20) ソクラテス |
| (21) トウキディデス | (22) トウグリル＝ベク |
| (23) ハールーン＝アッラシード | (24) ピタゴラス |
| (25) ヒッポクラテス | (26) プラトン |
| (27) プロタゴラス | (28) ヘロドトス |
| (29) ポリビオス | (30) ムアーウィヤ |
| (31) ユスティニアヌス | (32) ユリアヌス |

問 2 文中の——線部(a)~(f)に関する以下の問に答えよ。解答は最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

- (a) このポリスで、奴隷身分の農民として農業に従事させられた人々を何と呼ぶか。
- (b) このポリスで、^{せんしゅ}僭主の出現を防ぐために導入された制度は何か。
- (c) 第2回目のこの戦争でイタリア半島に侵入し、ローマの将軍スキピオと戦ったカルタゴの将軍は誰か。
- (d) この帝国ではキリスト教が国教化されたが、アタナシウス派をキリスト教の正統教義とすることを決めた公会議は何か。
- (e) この戦いを何というか。
- (f) この文化運動において、ギリシア語やアラビア語で書かれた古典文献は何語に翻訳されたか。

問 3 文中の~~~~線部(ア)~(エ)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

- (ア) この帝国に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
 - (1) 『ローマ法大全』が^{へんさん}編纂された。
 - (2) 軍管区(テマ)制が敷かれた。
 - (3) 聖像禁止令が発布された。
 - (4) プロノイア制と呼ばれる土地制度が導入された。
 - (5) 第3回十字軍によって首都が奪われ、ラテン帝国が建てられた。
- (イ) 古代のこの地域に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
 - (1) 1年を365日とする太陽暦が用いられた。
 - (2) 前3000年ごろ、ファラオによる統一国家が誕生した。
 - (3) アメンホテプ(アメンヘテプ)4世がテル=エル=アマルナに都を移した。
 - (4) 太陽神ラーに対する崇拜を中心とした多神教が信仰された。
 - (5) 六十進法が発明された。

(ウ) この王朝に関する以下の短文のうち、正しいものはどれか。

- (1) アルハンブラ宮殿を建造した。
- (2) トゥール・ポワティエ間の戦いに敗れた。
- (3) アラブ人が持っていた特権を廃止し、ムスリム平等主義を打ち出した。
- (4) 西ゴート王国を滅ぼした。
- (5) イクター制を導入した。

(エ) この人々に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 「ヴァイキング」とも呼ばれた。
- (2) クヌート(カヌート)の率いる一派はノルマンディー公国を建てた。
- (3) この人々の一派であるデーン人のイングランドへの侵入を、アルフレッド大王が阻止した。
- (4) ノルマンディー公ウィリアム(ギヨーム)がノルマン朝を開いた。
- (5) リューリクを首領とする一派がノヴゴロド国を建てた。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

2025 年、大阪では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした万国博覧会が開催される予定だが、万国博覧会の歴史は 19 世紀半ばまで遡る。

最初の万国博覧会は、1851 年、ロンドンで開催された。

18 世紀の後半、イギリスにおける産業革命は綿織物業から始まった。^(a)労働者の生活条件は劣悪で、工場では安い労働力として長時間労働を強いられた。

19 世紀になると、労働者たちは自らの要望の実現をめざしてチャーティスト運動^(b)をおこした。工場経営者の中にも共同体的な理想社会を構想する者が現れた。^(c)

17 世紀以来イギリスは東インド会社を通じてインドに進出し、支配権を拡大していった。東インド会社はインド統治の組織として存続し、18 世紀末以降、^(r)地稅收入安定のため新たな制度を作った。19 世紀半ば、東インド会社のインド人傭兵が起こした反乱を鎮圧したイギリスはインドの直接統治に乗り出し、1877 年にはインド帝国^(d)を成立させた。1851 年のロンドン万国博覧会は、産業革命をいち早く達成したイギリスの国威と工業力を世界に示すものだった。

フランスでは 1855 年のパリ万国博覧会を皮切りに、たびたび万国博覧会が開催された。同国では1848 年の二月革命で王政が倒れ、第二共和政が成立した。^(e)同年 12 月の選挙で大統領となった人物が、1851 年、クーデタで権力をにぎり、翌 52 年に国民投票で皇帝となり、ナポレオン 3 世と称した(第二帝政)。

第二帝政期のフランスでは工業化が推進され、これが万国博覧会開催の一契機となった。ナポレオン 3 世はまた、積極的な對外政策によって国益を追求した。^(f)

彼は、しかし、プロイセンとの戦争に敗れ、1870 年に帝政は崩壊、ブルジョワ共和派の臨時政府が成立した。新政府の方針に不満を持つパリ市民は蜂起して自治政府を宣言したが、^(g)政府軍によって鎮圧された。1875 年に共和国憲法が制定され、70 年代末までに第三共和政が確立した。

第三共和政も積極的な對外進出をはかった。第三共和政は 1940 年まで続いた^(g)が、1937 年にもパリで万国博覧会が開催された。スペインは内戦のさなかに^(h)あったが、この博覧会に参加した。

アメリカ合衆国では 1876 年、独立百周年を記念する万国博覧会がフィラデルフィアで開催された。

北米大陸東部沿岸地域のイギリス領植民地は、17 世紀後半以降、本国の重商

主義体制に組み込まれた。18 世紀半ばの七年戦争(北米ではフレンチ＝インディアン戦争)での勝利後⁽ⁱ⁾、植民地への課税強化の施策をめぐって、イギリス本国と北米植民地との対立が起こった。この対立は次第に激しさを増し、1775 年に両者の武力衝突が発生した。翌 1776 年、植民地側は独立宣言を発し^(j)、アメリカ合衆国と名乗った。アメリカ独立戦争は 1783 年に終わり、アメリカ合衆国は 1787 年に合衆国憲法を制定して大統領制の連邦共和国となった^(k)。1812 年から 14 年にかけてのイギリスとの戦争後、アメリカ合衆国はモンロー宣言^(α)を発して外交方針を示したが、この方針は第一次世界大戦まで同国の外交の基本となった。

奴隷制プランテーションを経済の基盤とする合衆国南部諸州は、奴隷制を廃止した北部諸州としばしば対立したが、19 世紀半ばになると奴隷制をめぐる南北^(l)の対立は激しさを増し、1861 年、南北戦争が始まった⁽¹⁾。この戦争は 65 年に北軍の勝利で終わり、奴隷制は正式に廃止された。

1876 年のフィラデルフィア万国博覧会は、南北戦争後、急速に経済的發展をとげつつあったアメリカ合衆国が新興国から成熟した国へと移行した事を世界に向けて宣言する博覧会となった。

問 1 文中の——線部(a)～(l)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(a) これに関する以下の短文 i ～ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i カートライトが力織機を発明した。

ii ジョン＝ケイが飛び杼^{とひ}を発明した。

iii ハーグリーヴズがミュール紡績機を発明した。

(1) i—正 ii—正 iii—正 (2) i—正 ii—正 iii—誤

(3) i—正 ii—誤 iii—正 (4) i—正 ii—誤 iii—誤

(5) i—誤 ii—正 iii—正 (6) i—誤 ii—正 iii—誤

(7) i—誤 ii—誤 iii—正 (8) i—誤 ii—誤 iii—誤

(b) この運動で労働者が要求した事項として正しいものはどれか。

(1) ギルドの廃止 (2) 穀物法の撤廃 (3) 信教の自由

(4) 男性普通選挙 (5) 封建的特権の廃止

- (c) イギリスにおけるこの代表的人物として正しいものはどれか。
- (1) オーウェン (2) コブデン (3) サン＝シモン
(4) フーリエ (5) ルイ＝ブラン
- (d) この帝国に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
- (1) 第二次世界大戦後まで存続した。
(2) インド国民会議が結成された。
(3) ヴィクトリア女王が最初の皇帝となった。
(4) カーストによる差別を法的に禁止した。
(5) ベンガル分割令が発表された。
- (e) この革命が起こった年にマルクスとエンゲルスが発表した著作として正しいものはどれか。
- (1) 『共産党宣言』 (2) 『資本論』 (3) 『社会契約論』
(4) 『諸国民の富』 (5) 『百科全書』
- (f) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
- (1) アルジェリアに出兵し占領した。
(2) アロー戦争で中国に侵攻した。
(3) イタリア統一戦争に介入した。
(4) クリミア戦争でロシアと戦った。
(5) メキシコに出兵した。
- (g) これに関する以下の短文のうち、正しいものはどれか。
- (1) コンゴ自由国をフランスの植民地とした。
(2) 清仏戦争に勝利し、ベトナムに対する保護権を得た。
(3) スーダンでマフディー運動を制圧した。
(4) タイを保護国としてフランス領インドシナ連邦を成立させた。
(5) モロッコでのイギリスの優越的地位を認めた。
- (h) この内戦で反乱軍を支援した国として正しいものはどれか。
- (1) イギリス (2) オーストリア (3) ソ 連
(4) イタリア (5) アメリカ

(i) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) イギリスはヴァージニア植民地を獲得した。
- (2) イギリスはカナダを獲得した。
- (3) イギリスはプロイセンと同盟して戦った。
- (4) イギリスはフロリダを獲得した。
- (5) イギリスはミシシッピ川以東のルイジアナを獲得した。

(j) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 革命権(抵抗権)を主張した。
- (2) ジェファソンを中心に起草された。
- (3) 『市民政府二論(統治二論)』を著したロックの主張が影響を与えた。
- (4) 人間が本来持つ基本的人権をうたった。
- (5) フランスの思想家ボシュエの主張が影響を与えた。

(k) 西部出身で先住民を強制移住させる法律を作った第七代大統領として正しいものはどれか。

- (1) ウィルソン (2) ジャクソン (3) マッキンリー
- (4) リンカン (5) ワシントン

(l) 米国における奴隷制と南北戦争に関連する以下の項目 i ~ iii が時代順に正しく並んでいるのはどれか。

- i カンザス・ネブラスカ法が制定された。
- ii ホームステッド法が制定された。
- iii ミズーリ協定が成立した。

- (1) i → ii → iii (2) i → iii → ii (3) ii → i → iii
- (4) ii → iii → i (5) iii → i → ii (6) iii → ii → i

問 2 文中の〰線部(イ)~(ロ)に関する以下の問に答えよ。解答はいずれも別紙の解答欄に書き入れよ。

(イ) このうち、国家的土地所有のもとで農民に土地保有権を与え徴税した制度は何と呼ばれるか。

(ロ) この革命的自治政府は何と呼ばれるか。

問 3 文中の＝線部(α)の宣言の内容を 30 字以内で説明せよ。解答は別紙の解答欄に書き入れよ。

〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

東西冷戦とは、第二次世界大戦末期に形成された、アメリカ合衆国を中心とする自由主義陣営とソヴィエト連邦を中心とする社会主義陣営の世界的な対立の構造である。しかし、冷戦とはいいながらも実際には、朝鮮戦争やベトナム戦争などのように世界各地で代理戦争が起きた。1950年に起きた朝鮮戦争は冷戦下における最初の大規模な軍事衝突だった。

1945年に日本が敗戦を迎えると、日本の植民地だった朝鮮半島は北緯^(イ)38度を境に南側はアメリカが、北側はソ連が、それぞれ一時的に分割占領地域とすることになった。その後、1948年には、南に(あ)を初代大統領とした「韓国」(大韓民国)が、北に「北朝鮮」がそれぞれ成立し、双方はお互いを国家として認めず緊張が高まった。^(ロ)そうしたなか、1950年6月、北朝鮮軍が南進し朝鮮戦争が始まった。

開戦から3日後には韓国の首都ソウルが陥落し、北朝鮮軍は朝鮮半島南端の釜山に迫るまで侵攻した。これに対し国連^(ハ)軍は、中国代表権問題でソ連が欠席するなか、アメリカ軍を主力とする国連軍の派遣を決議した。当時、国連における中国としての代表権は(い)が率いる中華民国(台湾)政府にあった。国連軍は、仁川上陸作戦を一つのきっかけに中国国境まで巻き返したが、その後、戦線が膠着した。

一方、日本の敗戦後、連合国は日本の非軍事化を進めていたが、朝鮮戦争の勃発によりその方針が変わり、今の自衛隊の前身となる組織が発足した。同時に日本の主権回復が急がれ、1951年9月に日本と連合国との間に^(ニ)平和条約が締結された。さらに、その同日には^(ホ)日米安全保障条約も締結され、アメリカ軍の日本駐留が基地とともに維持されることとなった。

アメリカは、ほかに韓国や中華民国(台湾)、フィリピンなど、アジアの国や地域との間にも相互防衛条約などを締結し、東アジアにおける集団安全保障体制の形成を図った。そうしたなか、日本と韓国の関係回復も急がれたが、交渉は難航し1965年6月によりやく日韓国交正常化が果たされた。

^(ヘ)戦争によって疲弊していた韓国では、1961年の軍事クーデタによって政権を掌握した(う)が対日関係を強化し、開発独裁体制のもと急速な経済発展を遂

げた。そして、初めてのオリンピック自国開催に漕ぎ着けた韓国政府は、オリンピックを翌年に控えるなか、高まる国民の民主化要求を受け入れざるを得なくなり、1987年に民主化宣言を行うに至った。^(e)

1970年代にはヨーロッパから始まったデタントにアメリカとソ連も同調するようになり、核軍縮の動きも進んだが、1979年のソ連によるアフガニスタン侵攻などにより再び米ソ関係は冷え込んだ。^(ホ)しかし、1980年代には東側で改革が進み、1989年11月9日に東ドイツでは、冷戦による分断の象徴でもあった E が開放された。1991年にはソ連が解体されるなどして、東西冷戦は^(ヘ)終結を迎えた。

一方、朝鮮半島では、北朝鮮が閉鎖的な国家建設を継続し、東アジアの緊張要因となってきた。後にノーベル平和賞を受賞することになった韓国の(え)大統領は、太陽政策によって北朝鮮との対話を試み、2000年には初の南北首脳会談を実現させた。しかし、北朝鮮の核開発問題などから対話は途切れ、依然として東アジアの冷戦構造は解消されていない。

問 1 文中の空欄(あ)～(え)にあてはまる最も適切な語句を下記の語群の中から選び、その番号を別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (11) 李承晩 | (12) 金日成 | (13) 金正日 |
| (14) 金大中 | (15) 金泳三 | (16) 金玉均 |
| (17) 高 宗 | (18) 周恩来 | (19) 蔣介石 |
| (20) 全斗煥 | (21) 全瑋準 | (22) 孫 文 |
| (23) 張作霖 | (24) 陳水扁 | (25) 朴正熙 |
| (26) 文在寅 | (27) 毛沢東 | (28) 李鴻章 |
| (29) 李成桂 | (30) 李登輝 | |

問 2 文中の空欄 A ～ E にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

問 3 文中の〰線部(a)~(e)に関する下記の問に答えよ。解答は最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

- (a) この国の正式名称は何というか。
- (b) 1950 年に創設されたこの組織は何か。
- (c) これに先立ち、アメリカをはじめとする西側 12 カ国が 1949 年に結成した集団安全保障同盟は何か。
- (d) このとき締結された条約は何か。
- (e) この背景のひとつになった、1980 年 5 月 18 日からの軍部による民主化運動弾圧事件は何か。

問 4 文中の——線部(i)~(h)に関する下記の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に番号で記入せよ。

- (i) この時期に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
 - (1) テヘラン会談で戦後の対日処理方針が決まった。
 - (2) ヤルタ会談でソ連の対日参戦が決まった。
 - (3) ドイツが無条件降伏した。
 - (4) 沖縄本島がアメリカ軍に占領された。
 - (5) 日本の降伏を求めるポツダム宣言が発表された。
- (ii) これに関する出来事 i ~ ii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。
 - i 中国が人民義勇軍を派遣した。
 - ii 休戦協定の後、平和条約が結ばれた。

(1) i—正 ii—正	(2) i—正 ii—誤
(3) i—誤 ii—正	(4) i—誤 ii—誤

※(h) これに関連する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 南ベトナム解放民族戦線がベトナム民主共和国と連携した。
- (2) 沖縄のアメリカ軍基地が利用された。
- (3) アメリカのジョンソン政権は南ベトナムへの爆撃を行った。
- (4) 戦争が長期化するとともに、反戦運動が世界各地に広がった。
- (5) ベトナム(パリ)和平協定によってアメリカ軍は撤退した。

(二) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 精神的な動員を強化する皇民化政策が取られた。
- (2) 日本語の使用や創氏改名が強制された。
- (3) 三・一独立運動が起きた。
- (4) 朝鮮統監府による文化政治が試みられた。
- (5) 第二次世界大戦末期には徴兵制が施行された。

(ホ) これに関する出来事 i ~ iii が時代の古い順に正しく並んでいるものはどれか。

- i アメリカとソ連は中距離核戦力 (INF) 全廃条約に調印した。
- ii アメリカ・イギリス・ソ連が部分的核実験禁止条約に調印した。
- iii アメリカ・ソ連を含む 62 カ国が核拡散防止条約 (NPT) に調印した。

- (1) i → ii → iii (2) i → iii → ii (3) ii → i → iii
- (4) ii → iii → i (5) iii → i → ii (6) iii → ii → i

(ヘ) これに関連する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアなどで東欧革命が進んだ。
- (2) ソ連のゴルバチョフとアメリカのレーガンがマルタ会談を行った。
- (3) 西ドイツが東ドイツを吸収する形で統一ドイツが誕生した。
- (4) 経済相互援助会議 (コメコン) が解散した。
- (5) ワルシャワ条約機構が解体された。

63

I

2025年度

世界史

問題冊子（1～12ページ）

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見ないこと。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし，解答に係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (4) 解答用紙上部に印刷してある受験学部・学科コード，受験番号，氏名(カタカナ)を確認し，氏名欄に氏名(漢字)を記入すること。もし，印刷に間違いがあった場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。

〔解答用紙記入例（選択式の場合）〕

例 1. 〔語群〕が二桁で (11) 大阪 (12) 佐賀 (13) 長崎 (14) 東京 とある場合

問 X	A		B		C	
	16	17	18	19	20	21
	/	2	/	4	/	/

Aの解答が佐賀の場合

Bの解答が東京の場合

Cの解答が大阪の場合

例 2. 〔語群〕が一桁で (1) 大学 (2) 中学校 (3) 高校 (4) 小学校 とある場合

問 X	a	b	c
	51	52	53
	/	4	2

aの解答が大学の場合

bの解答が小学校の場合

cの解答が中学校の場合

〔Ⅰ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

現在、トルコの都市イスタンブルがある地には、紀元前7世紀頃、ギリシア人によって植民市ビザンティウムが建設された。そして、ローマ皇帝のコンスタンティヌス^(a)が紀元後330年、ここを新たな首都として、「コンスタンティヌスの町」，すなわちコンスタンティノープルと名付けた。

ローマ帝国では、キリスト教を国教とした(ア)が395年に没すると、国が東西に分裂した。コンスタンティノープルは西ローマ帝国の滅亡後もビザンツ帝国の首都として発展を続けた。6世紀の(イ)の時代に、この国は最盛期を迎えた。(イ)はヴァンダル王国や東ゴート王国を滅ぼして領土を拡張した。また、『ローマ法大全』を編さんし、イスタンブルに今も残る A 大聖堂をはじめ、多くの教会堂を建立した。

7世紀になって異民族の攻撃が激しくなると、ビザンツ帝国は、これに対処するため、地域の司令官に軍事と行政の権限を与える B 制を導入した。また、(ウ)は726年に聖像禁止令を發布し、イエスや聖母などを描いたイコン美術を禁止した。これによって、布教に聖像を用いたローマ＝カトリック教会との対立が深まり、コンスタンティノープルはギリシア正教会^(あ)の中心として発展していった。

ビザンツ帝国がセルジューク朝^(b)との戦いに敗れると、時の教皇ウルバヌス2世によって十字軍の派遣が提唱された。第1回十字軍はイエルサレム王国の建国に成功した。しかしイエルサレムは1187年にサラフ＝アッディーン^(い)(サラディン)によって再び奪回された。第4回十字軍は1204年、コンスタンティノープルを占領し、ここに C 帝国を建てた。だが1261年にコンスタンティノープルは再びビザンツ帝国の首都に返り咲いた。

1453年、オスマン帝国の若きスルタン(エ)がコンスタンティノープルを征服し、ビザンツ帝国は滅亡した。(エ)はこの都市をオスマン帝国の首都とし、ここは後にイスタンブルと呼ばれるようになった。 A 大聖堂^(c)はイスラーム教のモスクに改修された。16世紀のスルタン(オ)は、積極的な領土拡大を推し進めた。ハンガリーを征服し、ウィーンを攻撃した。彼は新たに海軍を編成し、1538年のプレヴェザの海戦^(う)で、スペイン・ヴェネツィアなどの連合

艦隊を破った。また、この国では、ヨーロッパ商人に居住や商業活動の自由を認める通商特権^(え)が与えられたことで、東西交易が広く展開された。こうしてイスタンブールは、ヨーロッパやアジアの人やモノ、文化が交流する都市へと発展していったのである。

問 1 文中の空欄(ア)～(オ)にあてはまる最も適切な人名を、下記の語群から選び、その番号を別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| (11) アウグストゥス | (12) アッバース 1 世 |
| (13) イスマーイール | (14) ウルグ＝ベク |
| (15) カール大帝 | (16) グレゴリウス 1 世 |
| (17) グレゴリウス 7 世 | (18) クローヴィス |
| (19) スレイマン 1 世 | (20) セリム 1 世 |
| (21) セリム 3 世 | (22) ディオクレティアヌス |
| (23) ティムール | (24) テオドシウス |
| (25) トラヤヌス | (26) バープル |
| (27) バヤジット 1 世 | |
| (28) マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス | |
| (29) メフメト 2 世 | (30) ユスティニアヌス |
| (31) レオ 10 世 | (32) レオン 3 世 |

問 2 文中の空欄 A ～ C にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

問 3 文中——線部(あ)～(え)に関する以下の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

- (あ) これを国教とした 10 世紀末のキエフ公国の大公は誰か。
- (い) この人物がエジプトに建国した王朝は何か。
- (う) オスマン海軍はその後 1571 年にスペイン・ヴェネツィアなどの連合艦隊に敗れることになるが、この戦いは何か。
- (え) この特権は何と呼ばれるか。

問 4 文中の~~~~線部(a)~(c)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(a) この皇帝に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 凱旋門を建てた。
- (2) キリシト教を公認した。
- (3) この皇帝の時にローマ帝国の領土は最大となった。
- (4) コロヌスの農地からの移動を禁じた。
- (5) ニケーア公会議を開催した。

(b) この王朝に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) アッバース朝からスルタンの称号を得た。
- (2) イクター制が行われた。
- (3) シーア派を国教とした。
- (4) トウグリル＝ベクによって建国された。
- (5) ブワイフ朝を倒した。

(c) この宗教に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 『コーラン(クルアーン)』を聖典とする。
- (2) 中国へ渡り、景教と呼ばれた。
- (3) ムハンマドによってとなえられた。
- (4) メッカ(マッカ)を聖地とする。
- (5) ワクフとよばれる財産寄進が行われた。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

今から 195 年前、1830 年のことである。フランスでは国王 A が反動的な政治を行っていた。7 月になるとそれに抵抗した民衆が蜂起し、A は国外に亡命した。9 月にはイギリスで、蒸気機関車を用いた最初の本格的な鉄道がマンチェスターとリヴァプールの間に開業した。その間の 8 月 18 日、オーストリアのシェーンブルン宮殿で生まれたのが、後にオーストリア皇帝となるフランツ＝ヨーゼフ 1 世である。

1848 年 2 月、フランスでは、選挙権拡大などを求めるパリの民衆蜂起を契機に革命が起こり、国王が退位して、社会主義者の（イ）も参加する共和政の臨時政府が発足した。この動きはヨーロッパ各地に波及し、プロイセンでは 3 月に自由主義者の政府が成立した。オーストリアでは同じ 3 月に宰相 B が失脚し、12 月には皇帝フェルディナント 1 世が退位して甥のフランツ＝ヨーゼフ 1 世が即位したのである。また、この年の 5 月からは、ドイツ各地の代表者が中西部の都市 C に集まって国民議会が開催され、ドイツの統一と憲法制定が討議された。さらに、オーストリアの支配下にあったハンガリーでは 1849 年 4 月に（ロ）の指導下に独立政府が樹立されたが、フランツ＝ヨーゼフ 1 世はロシア皇帝ニコライ 1 世に救援を求め、同年 8 月に独立政府の軍を鎮圧した。

ロシア皇帝との密接な関係はその後も続いたにもかかわらず、フランツ＝ヨーゼフ 1 世は、クリミア戦争に際しては中立を維持しつつ、ロシアのバルカン半島への進出を牽制するために、後に統一してルーマニアとなるモルダヴィア・ワラキアに軍を進駐させてイギリス・フランスを⁽³⁾実質的に支援した。このことは、オーストリアとロシアとの関係を決定的に悪化させた。

クリミア戦争には、サルデーニャ王国もフランス側に立って参戦した。首相 D が国王ヴィットーリオ＝エマヌエーレ 2 世のもとで近代化政策を進めていたサルデーニャ王国は北イタリアの統一を目指しており、D は 1858 年にプロンビエール密約によってフランス皇帝 E の支援を取り付けた。1859 年 4 月にサルデーニャ王国とオーストリアとの間でイタリア統一戦争が始まったが、6 月の⁽⁴⁾ソルフェリーノの戦いに敗れたオーストリアは北イタリアの（ハ）をサルデーニャ王国に譲り、翌年、オーストリア支配下にあった中

部イタリアもサルデーニャ王国に併合された。さらに南イタリアとシチリア島もサルデーニャ国王に献上される形で併合されて、1861年にイタリア王国が成立した。

この頃、デンマークはドイツ系住民が多数を占めるシュレスヴィヒ・ホルシュタイン両公国を統治下においていた。プロイセンとオーストリアはデンマークから両公国を奪取したもののその帰属をめぐって対立し、1866年にプロイセン＝オーストリア戦争が起こった。これに敗れたオーストリアは両公国のプロイセンへの帰属を認めた上、この戦争でプロイセンに加担したイタリア王国に（二）を割譲した。

プロイセン＝オーストリア戦争の後、ウィーン会議によって成立しオーストリアを議長国としていた（ホ）は解体された。もはやドイツ統一に関与できなくなったオーストリアは東方への勢力拡大に関心を移し、パン＝ゲルマン主義を追求してパン＝スラヴ主義との対立を深めていく。特に、1908年にボスニア・ヘルツェゴヴィナ^(ホ)を併合したことによりセルビアとの関係が悪化し、それが1914年のサラエヴォ事件につながる。第一次世界大戦のきっかけとなったこの事件で甥のフランツ＝フェルディナントを失ったフランツ＝ヨーゼフ1世は、開戦後の1916年11月21日、シェーンブルン宮殿で86歳の生涯を終えたのであった。

問 1 文中の空欄

A

 ～

E

 にあてはまる最も適切な人名または都市名を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。

問 2 文中の空欄(イ)～(ホ)にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群の中から選び、番号で別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

- | | | |
|----------------------|--------------|--------------|
| (11) ヴィクトル＝ユゴー | (12) ヴェネツィア | |
| (13) 北ドイツ連邦 | (14) ケレンスキー | |
| (15) コシユーシコ(コシチューシコ) | (16) コシュート | |
| (17) サヴォイア | (18) ザール | (19) サン＝シモン |
| (20) ジェノヴァ | (21) 神聖ローマ帝国 | (22) ゾラ |
| (23) ティエール | (24) ドイツ関税同盟 | (25) ドイツ帝国 |
| (26) ドイツ連邦 | (27) トリエステ | (28) ピウスツキ |
| (29) フィウメ | (30) フィレンツェ | (31) フーリエ |
| (32) プルードン | (33) ホルティ | (34) 南チロル |
| (35) ライン同盟 | (36) ルイ＝ブラン | (37) ロンバルディア |

問 3 文中の下線部(あ)～(お)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(あ) この都市を拠点に、反穀物法同盟を結成して穀物法廃止運動を主導した人物として正しいものはどれか。

- (1) アダム＝スミス (2) オコネル(オコンネル)
(3) コブデン (4) マルサス (5) テュルゴ

(い) この人物の事績を説明している以下の短文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 十月宣言を発した。
(2) 農奴解放令を発した。
(3) プガチョフの農民反乱を鎮圧した。
(4) 清との間にネルチンスク条約を結んだ。
(5) デカブリスト(十二月党员)の乱を鎮圧した。

(う) この国の独立を正式に承認した国際会議として正しいものはどれか。

- (1) パリ講和会議 (2) ベルリン会議
(3) ローザンヌ会議 (4) ロンドン会議
(5) ワシントン会議

(え) この戦いでの経験をもとに、負傷者の状況を改善するために国際赤十字運動を提唱したスイスの実業家として正しいものはどれか。

- (1) オーウェン (2) デュナン
(3) トルストイ (4) ナイティンゲール
(5) ノーベル

(お) この併合の契機となった事件で、同じ 1908 年に起きたものはどれか。

- (1) キール軍港の水兵反乱 (2) 青年トルコ革命
(3) 血の日曜日事件 (4) ブーランジェ事件
(5) ボリシェヴィキの武装蜂起

〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

アジアには、植民地化され、第二次世界大戦後に独立し、20 世紀後半から 21 世紀の最初の四半世紀に経済発展に成功した多くの国や地域が存在する。そこで、アジアの植民地化された国や地域の歴史について見てみよう。

インドのムガル帝国は、第 6 代皇帝アウラングゼーブの時代に最大の領土となった。^(あ)しかし、彼は人頭税を復活するなどして、ヒンドゥー教徒の反発を招いた。17 世紀後半のデカン高原では、ヒンドゥー教の A 王国が勢力を広げ、さらに、シク教徒等が反乱をおこし、彼の死後、ムガル帝国は分裂した。

こうしたなか、インド内の争いに介入したイギリスとフランスが対立し、1757 年にイギリス東インド会社がフランスとベンガル太守の連合軍を破った B の戦いの後に、イギリスの優位が確立した。その後、イギリスはインド内部の支配を拡大し、例えば、^(a)ベンガル管区では、新たな徴税制度を導入した。インドはイギリスの植民地下におかれ、^(い)インドの社会や経済は大きく変容した。^(b)1877 年にはインド帝国が成立し、1947 年まで存続した。

東南アジアでも植民地化が進められた。例えば、^(う)オランダは 17 世紀に、ジャワ島にアジア交易の根拠地をおき、^(え)アンボyna 事件後に、ジャワ島での領土獲得にとりかかった。18 世紀半ばには、ジャワ島で繁栄していたイスラーム国家であった C 王国が滅び、19 世紀初めに、オランダはジャワ島で強制栽培制度をはじめた。18 世紀後半から 19 世紀においても、欧米諸国による植民地化は進み、^(お)イギリス、フランス、スペインによる東南アジア各地域の領有や開発が行われた。こうした中、^(c)シャム(タイ)は植民地化を唯一回避した国であった。

19 世紀の終わりから東アジアでも日本による台湾や朝鮮の植民地化が進められた。台湾は 17 世紀半ばには、オランダに領有された状態にあった。1661 年、明の遺臣であった D が、オランダから台湾を奪って清に対抗したが、その後、^(d)清は台湾を領土に組みこんだ。しかし、19 世紀末の日清戦争の講和条約である下関条約で、台湾は日本に割譲された。また、^(か)20 世紀初頭の朝鮮半島では、^(き)3 次にわたる日韓協約によって日本による韓国の保護国化が進み、1910 年に日本は韓国併合を強行した。

第一次世界大戦後には、植民地化された多くの地域で、独立をめざす動きが強まった。朝鮮では、第一次世界大戦後にソウルで市民が「独立万歳」を叫んでデモ活動をおこなった E がおこり、この運動は朝鮮全土に広まった。インド^(く)では、第一次世界大戦後から 1930 年代にかけて独立運動や独立に向けた動きが強まった。東南アジアでは、独立運動組織が結成された。例えば、オランダ領東インド(現在のインドネシア)では、1927 年にスカルノを党首とする F 党が結成され、独立運動を展開し、都市部を中心に支持を集めた。しかし、この時期、いずれの地域でも独立が達成されることはなかった。

第二次世界大戦後から 1970 年代までの間に、植民地化されていたアジアの国^(け)や地域は、宗主国から独立した。さらに、独立とともに工業化が進んだ国や地域もあった。東南アジアでは、ASEAN 諸国が経済を発展させ、台湾や韓国でも工業化が進み、特に、韓国の開発独裁^(こ)では、1960 年代から輸出主導の経済発展が進められた。こうしたアジアの経済発展は、1990 年代には「東アジアの奇跡」と表現された。

問 1 文中の空欄 A ～ F にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

問 2 文中の——線部(a)～(d)に関する以下の問に答えよ。解答はすべて別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

- (a) この徴税制度は何か。
- (b) 1877 年にこの国の皇帝に即位した人物は誰か。
- (c) この国で 18 世紀後半に創始され、現在まで続く王朝は何か。
- (d) これを行った清朝の皇帝は誰か。

問 3 文中の〰線部(あ)～(こ)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(あ) この国の第3代皇帝アクバルが都をおいた都市はどれか。

- | | |
|---------------|----------|
| (1) アグラ(アーグラ) | (2) デリー |
| (3) ボンベイ | (4) マドラス |

(い) これについて述べた以下の短文 i ～ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i インド国内のアヘン栽培が禁止された。

ii インド綿布の輸出がイギリスからの綿布の輸入を上回るようになった。

iii カースト制度が撤廃された。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) i—正 ii—正 iii—正 | (2) i—正 ii—正 iii—誤 |
| (3) i—正 ii—誤 iii—正 | (4) i—正 ii—誤 iii—誤 |
| (5) i—誤 ii—正 iii—誤 | (6) i—誤 ii—正 iii—正 |
| (7) i—誤 ii—誤 iii—正 | (8) i—誤 ii—誤 iii—誤 |

(う) この根拠地として正しいものはどれか。

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| (1) アチェ | (2) バタヴィア | (3) ペナン |
| (4) マニラ | (5) マラッカ | |

(え) この事件を契機としてマルク(モルッカ)諸島等から駆逐された勢力として正しいものはどれか。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| (1) イギリス | (2) スペイン | (3) フランス |
| (4) ポルトガル | (5) ロシア | |

(お) これについて述べた以下の短文 i ～ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i イギリスは、シンガポールを領有した。

ii フランスは、ビルマを獲得した。

iii スペインは、ベトナムを領有した。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) i—正 ii—正 iii—正 | (2) i—正 ii—正 iii—誤 |
| (3) i—正 ii—誤 iii—正 | (4) i—正 ii—誤 iii—誤 |
| (5) i—誤 ii—正 iii—誤 | (6) i—誤 ii—正 iii—正 |
| (7) i—誤 ii—誤 iii—正 | (8) i—誤 ii—誤 iii—誤 |

(か) この条約について述べた以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i 日本は清朝から賠償金を得ることができなかった。

ii 膠州湾^{こうしゅう}が日本に割譲された。

iii 日本が中国の開港場で工場を営むことが認められた。

(1) i—正 ii—正 iii—正 (2) i—正 ii—正 iii—誤

(3) i—正 ii—誤 iii—正 (4) i—正 ii—誤 iii—誤

(5) i—誤 ii—正 iii—誤 (6) i—誤 ii—正 iii—正

(7) i—誤 ii—誤 iii—正 (8) i—誤 ii—誤 iii—誤

(き) これについて述べた以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

(1) 大院君が即位し、日本の保護国化に抵抗した。

(2) 伊藤博文が初代統監であった。

(3) ハーグ密使事件がおこった。

(4) 3次にわたる日韓協約は、日露戦争開戦後に結ばれた。

(5) 義兵闘争(運動)がおこった。

(く) これについて述べた以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i 「プールナ = スワラージ(完全独立)」が決議された。

ii 「塩の行進」によって反英運動が展開した。

iii 非協力運動(不服従^{ふふくじゅう}運動・非暴力運動)が展開した。

(1) i—正 ii—正 iii—正 (2) i—正 ii—正 iii—誤

(3) i—正 ii—誤 iii—正 (4) i—正 ii—誤 iii—誤

(5) i—誤 ii—正 iii—誤 (6) i—誤 ii—正 iii—正

(7) i—誤 ii—誤 iii—正 (8) i—誤 ii—誤 iii—誤

(け) これについて述べた以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ホー＝チ＝ミンはベトナム民主共和国の独立を宣言した。
- (2) フィリピンはアメリカから独立した。
- (3) カンボジアはオランダから独立した。
- (4) インド連邦とパキスタンがわかれて独立した。
- (5) インドネシアでは、インドネシア共和国の成立が宣言された。

(こ) これを進めた人物として正しいものはどれか。

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| (1) <small>イ スンマン</small>
李承晩 | (2) <small>キムイルソン</small>
金日成 | (3) <small>キム デ ジュン</small>
金大 中 |
| (4) <small>キムヨンサム</small>
金泳三 | (5) <small>パクチョン ヒ</small>
朴 正 熙 | |

64

I

2025年度

世界史

問題冊子（1～11ページ）

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見ないこと。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし，解答に関係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (4) 解答用紙上部に印刷してある受験学部・学科コード，受験番号，氏名（カタカナ）を確認し，氏名欄に氏名（漢字）を記入すること。もし，印刷に間違いがあった場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。

〔解答用紙記入例（選択式の場合）〕

例 1. 「語群」が二桁で（11）大阪（12）佐賀（13）長崎（14）東京 とある場合

問 X	A		B		C	
	16	17	18	19	20	21
	/	2	/	4	/	/

Aの解答が佐賀の場合

Bの解答が東京の場合

Cの解答が大阪の場合

例 2. 「語群」が一桁で（1）大学（2）中学校（3）高校（4）小学校 とある場合

問 X	a	b	c
	51	52	53
	/	4	2

aの解答が大学の場合

bの解答が小学校の場合

cの解答が中学校の場合

〔Ⅰ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

アフリカ大陸は、サハラ砂漠で大きく南北に分かれている。サハラ砂漠以北では、ナイル川流域のエジプトで紀元前 3000 年頃に統一国家が成立した。その後のエジプト古代史は、古王国・中王国・新王国とそれに続く末期王朝に区分される。新王国は東地中海沿岸地域にも領土を広げたが、その支配が終わるころから、この地域では(イ)人が活動し始める。彼らはここでシドン、ティルスなどの都市国家を建てたほか、地中海商業に従事して沿岸各地に植民市をつくり、アフリカにもカルタゴを建てた。エジプト新王国が滅亡した後、ナイル川中流域には紀元前 10 世紀にナパタを中心に(ロ)王国が成立した。この国は、紀元前 8 世紀には一時的にテーベ^(a)に都をおいてエジプトを支配したが、アッシリア王国の攻撃を受けてナパタに退いた。

メソポタミア北部を拠点に小アジア方面との交易に従事していたアッシリア人は、紀元前 7 世紀前半にエジプトを征服して全オリエントを統一した。アッシリア王国は征服地を州に分け総督を派遣して統治したが、重税や圧政が服属民の反抗を招き、紀元前 7 世紀後半に首都(ハ)が陥落して王国は崩壊した。これにより独立を回復したエジプトは、紀元前 6 世紀初頭に(ロ)王国をさらに南方に後退させた。(ロ)王国はメロエを新たな都としたが、ここでは神聖文字^(b)(ヒエログリフ)をもとにメロエ文字がつけられた。

エジプトは紀元前 6 世紀後半に、(ニ)朝ペルシアの支配下に入った。一方、紀元前 4 世紀になるとギリシア北方のマケドニアが台頭してくる。紀元前 4 世紀後半、マケドニアのアレクサンドロス大王は(ニ)朝を滅ぼし、さらに東方への遠征を進めて広い範囲を征服した。彼の死後、その領土は分裂し、エジプトは(ホ)朝の支配するところとなる。(ホ)朝も紀元前 1 世紀後半に滅亡し、エジプトはローマの支配下に入った。

紀元前後になると、エチオピア高原北部にアクスム王国が成立した。この国に言及している最古の文献は、エジプトに住むギリシア人によって紀元後 1 世紀頃に書かれたとされる、紅海・インド洋の航海事情や各地の産物などを説明した『(ヘ)』である。アクスム王国は、4 世紀に(ロ)王国を征服し、また、キリスト教を受容した。

この頃、キリスト教は現在のチュニジアやアルジェリアの地中海沿岸にも広まりつつあった。『告白(告白録)』や『神の国(神国論)』の著者 A も、4世紀末からこの地域の都市ヒッポレギウスでキリスト教の司教を務めている。また、同じころから始まったゲルマン人の大移動の流れの中で、この地域ではその一派である(ト)人が5世紀前半に王国を建てたが、それは6世紀になると東ローマ帝国によって滅ぼされた。

7世紀にアラビア半島にイスラーム教が起こると、その勢力は短期間で広がり、正統カリフが統率していた時期にエジプトまで及んだ。それに続くウマイヤ朝の時期に、北アフリカの地中海沿岸一帯までイスラームの支配下に入った。エジプトはその後、歴代のイスラーム王朝により支配された。すなわち、アッバース朝、ファーティマ朝、12世紀半ばからは B が建てたアイユーブ朝、そしてマムルーク朝である。アフリカ北西部でもイスラームの国がおこり、11世紀半ばにはムラービト朝が、次いでムワッヒド朝が成立した。

サハラ砂漠以南の西アフリカでは、ここで産出される(チ)と地中海世界の産物の交易を基盤として、8世紀までには(リ)王国が成立していた。その後、(リ)王国にはイスラーム商人も訪れるようになり、彼らの居留地も出現した。11世紀後半に(リ)王国がムラービト朝によって征服された後には西アフリカのイスラーム化が進み、13世紀にはマリ王国が成立した。ここでは、ニジェール川中流域の都市トンプクトゥが、(チ)を外部へともたらす交易拠点として、また、イスラームの学者が集まる学術拠点として、栄えた。マリ王国は14世紀前半の国王 C の時に最盛期を迎え、彼はメッカに巡礼した際に大量の(チ)を消費したので、現地では(チ)の価格が下落したと伝えられている。マリ王国は、15世紀に(ヌ)王国が勢力を伸ばすと衰退したが、トンプクトゥの繁栄は(ヌ)王国にも受け継がれたのである。

問 1 文中の空欄(イ)～(ヌ)にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群の中から選び、番号で別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

- | | | |
|----------------------|-------------------|--------------|
| (11) アケメネス(アカイメネス) | (12) アラム | |
| (13) アンティゴノス | (14) イエルサレム | (15) イスラエル |
| (16) ヴァンダル | (17) エリユトウラー海案内記 | |
| (18) カッシート | (19) ガーナ | (20) 絹 |
| (21) ^{きん} 金 | (22) クシュ | (23) 香辛料 |
| (24) ササン | (25) サーマーン | (26) 塩 |
| (27) ス サ | (28) 世界の記述(東方見聞録) | |
| (29) セレウコス | (30) ソンガイ | (31) 大唐西域記 |
| (32) 大旅行記(三大陸周遊記) | (33) ダマスクス | |
| (34) 地理誌 | (35) 西ゴート | (36) ニネヴェ |
| (37) 博物誌 | (38) パピルス | (39) 東ゴート |
| (40) ヒッタイト | (41) フェニキア | (42) プトレマイオス |
| (43) ブルグンド | (44) ヘブライ | (45) ペルセポリス |
| (46) ミタンニ | (47) モノモタパ | (48) ユ ダ |
| (49) ランゴバルド | | |

問 2 文中の空欄 A ～ C にあてはまる最も適切な人名を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。

問 3 文中の下線部(a)～(b)に関する下記の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に書き入れよ。

(a) エジプトでは、中王国・新王国時代には都がこの地に置かれていたが、それに先立つ古王国時代に都が置かれていたのはどこか。

(b) 19 世紀前半に、この文字の解読に成功したフランスの学者は誰か。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

古代ギリシアの神話に登場するプロメテウスは天界から火を盗んで人間に与え^(a)たためゼウスの怒りを買ひ、岩山に縛り付けられた神として知られている。この「プロメテウスの火」は私たちにとってのテクノロジー(科学技術)のあり方を象徴するものとしてしばしば語られる。なぜならそれは私たちの生活に多大な恩恵を与えるものであると同時に、私たちの存在を脅威にさらすものでもあるからである。

テクノロジーが自然を利用するためには、自然を現象として正確に認識し、そこに潜む法則性を捉えることが必要となる。こうした姿勢が確立し、今日に至る自然科学の基礎が形成されたのは16世紀から17世紀のヨーロッパにおいてである。それは世界観・宇宙観の一大転換を伴うものであった。ポーランドの天文学者 A は地動説を唱え、それまでヨーロッパで支配的であった天動説に^(a)代わる見方を打ち立てた。科学史上、重要な発見や発明がなされ、自然についての認識が飛躍的に発展した16世紀から17世紀は、今日では「科学革命」の時代と呼ばれている。こうした動きは哲学の展開とも結びついていた。フランスの哲学者デカルトは、自然の合理的認識を哲学的に基礎付けた。18世紀後半、デカルトに代表される大陸合理論とイギリス経験論とを総合したドイツの哲学者 B においても、自然の科学的認識の根拠が探究された。

イギリスにおいて生じた⁽ⁱ⁾産業革命が科学の成果にどの程度基づいていたのかは議論のあるところであり、実際にその革新的技術の発明者たちの多くは基本的に技術者であった。その後、実用的技術と科学との結びつきは顕著なものとなってい⁽⁵⁾き、19世紀には科学それ自身の専門化・細分化と制度化が急速に進み、多くの⁽⁵⁾成果が生み出された。さらに、19世紀の後半になると、テクノロジーはより深く国家と結びついていくようになる。ロンドンにおいて1851年に開催された最初の C はイギリスの国力を広く誇示する場という意味も担っていたのである。

テクノロジーが国家によって振興されるということは、それが国家によって政治的に、また軍事的に利用される可能性をもつということを意味する。オーストリアの統治下に置かれていたボスニア・ヘルツェゴヴィナ^(b)の中心都市 D で、1914年にオーストリアの帝位継承者夫妻がセルビア人によって暗殺された事件をきっかけとして勃発した第一次世界大戦は、科学者が組織的

に動員された戦争でもあった。戦争は長期戦となり、戦闘員だけではなく、女性を含めた一般社会全体が戦争に動員される史上初の 体制が出現した。機関銃や戦車など多くの兵器が戦闘に投入され、毒ガスをはじめとする化学兵器や戦闘機の開発に科学者が動員された。

2024 年に日本で公開された映画『オッペンハイマー』で描かれていたのは、第二次世界大戦における科学者あるいはテクノロジーと戦争との関係であった。映画の主人公であるオッペンハイマーは、1943 年にアメリカ合衆国ニューメキシコ州のロスアラモスに建設された研究所の所長として原爆開発を主導することになる。「マンハッタン計画」と呼ばれたプロジェクトに参加した多くの科学者に共通の思いは、ナチス＝ドイツに先んじて原爆を完成させることであったが、ドイツはそれを成し遂げることなく、1945 年 5 月に無条件降伏をする。しかし、その後も開発は進み、同年 7 月史上初の原爆実験が成功する。製造された原爆の標的となったのは、当時、太平洋戦争の最中にあった日本であった。8 月に二発の原爆が日本に投下される。^(お) 同月、日本は 宣言を受諾し降伏する。

原爆が引き起こしたあまりの惨劇に直面して、戦後、科学者たちの中には自分たちの社会的責任を痛感する者も現われた。オッペンハイマーは核管理の必要性を主張し、アメリカの水爆開発に反対した。しかし、政府と異なる立場となり、アメリカを中心とする陣営とソヴィエト連邦を中心とする陣営との冷戦を背景とした「赤狩り」の嵐の中、1954 年に公職を追われた。また、相対性理論の提唱者で世界的に有名な理論物理学者 と哲学者ラッセルの呼びかけによって、1957 年カナダのパグウォッシュで会議が開かれ、核兵器の禁止が訴えられた。

問 1 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

問 2 文中の——線部(a)~(b)に関する以下の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

(a) これに関連して、長年の天体観測のデータにもとづいて惑星運行の法則を発見したドイツの天文学者は誰か。

(b) この地の行政権をオーストリアに認めた、1878 年に開かれた会議は何か。

問 3 文中の~~~~線部(あ)~(か)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(あ) これについて説明した以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ホメロスは『イリアス』や『オデュッセイア』などの作品を残した。
- (2) ピタゴラスは万物の根源を水と考えた。
- (3) プラトンはイデア論を唱えた。
- (4) エピクロスは精神的な快楽主義を主張した。
- (5) エウクレイデスが平面幾何学を体系化した。

(い) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ダービーはコークス製鉄法を改良した。
- (2) ジョン=ケイは水力紡績機を発明した。
- (3) ワットは蒸気機関を改良した。
- (4) カートライトは力織機を発明した。
- (5) クロンプトンはミュール紡績機を発明した。

(う) これに関する事項として誤っているものはどれか。

- (1) モース(モールス)による電信機の発明
- (2) ハーヴェーによる血液循環論の提唱
- (3) コッホによる結核菌・コレラ菌の発見
- (4) ファラデーによる電磁気学の基礎の確立
- (5) ノーベルによるダイナマイトの発明

(え) これに関連する出来事 i ~ iii が、時代の古い順に正しく並んでいるものはどれか。

i ソ連への侵攻開始

ii ポーランドへの侵攻開始

iii 独ソ不可侵条約の締結

(1) i → ii → iii (2) i → iii → ii (3) ii → i → iii

(4) ii → iii → i (5) iii → i → ii (6) iii → ii → i

(お) これに関連する以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i 日本軍は真珠湾の米海軍基地を奇襲した。

ii ミッドウェー海戦で日本はアメリカに勝利した。

iii 沖縄本島はアメリカ軍に占領された。

(1) i—正 ii—正 iii—正 (2) i—正 ii—正 iii—誤

(3) i—正 ii—誤 iii—正 (4) i—正 ii—誤 iii—誤

(5) i—誤 ii—正 iii—正 (6) i—誤 ii—正 iii—誤

(7) i—誤 ii—誤 iii—正 (8) i—誤 ii—誤 iii—誤

(か) これに関する以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i ソ連と東欧諸国は NATO に対抗してワルシャワ条約機構を発足させた。

ii アメリカは人類史上初の有人宇宙飛行を成功させた。

iii ニクソン政権時にキューバ危機が起こった。

(1) i—正 ii—正 iii—正 (2) i—正 ii—正 iii—誤

(3) i—正 ii—誤 iii—正 (4) i—正 ii—誤 iii—誤

(5) i—誤 ii—正 iii—正 (6) i—誤 ii—正 iii—誤

(7) i—誤 ii—誤 iii—正 (8) i—誤 ii—誤 iii—誤

〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

貨幣はときに歴史を映し出す。ここでは、これを糸口にアジアの歴史を取り上げてみたい。

現存する最古の金属貨幣は(a)王国で製造されたものである、と言われている。古代中国では貝なども用いられたが、貨幣の多くは、金属、とくに青銅を原料に作成された。儒家の孔子や道家の莊子、法家の(b)や韓非ら諸子百家の活躍した春秋、戦国時代には刃物の形状をした刀錢、農具の形をした A などそれぞれの国ごとに形の異なる貨幣が^{ちゅうぞう}鑄造されていたが、秦はそれらの貨幣を銅製の穴の開いた通貨に統一した。その後、再び中国を統一した漢は、^(イ)武帝の治世期に五銖錢を鑄造し統一通貨とした。

銅を原料とした貨幣は中国の主要な通貨として用いられ、日本にも貿易を通じて輸出されている。北宋の時代には、金属貨幣に^{だかん}兌換することのできる「交子」と呼ばれる手形が^(ロ)現れ、後に紙幣とされた。南宋を滅ぼし中国を統一した^(イ)元の時代になると広大な領土のもとで遠隔地を結んだ経済活動がさらに活発となり、銀による取引が進み、また「 B 」と呼ばれる紙幣も使われるようになった。

^(ハ)明代・清代になるとヨーロッパや日本との貿易を通じてさらに中国への銀の流入、社会への浸透が進み、その結果、銀は国家の税制をも変革することとなった。明代には労役などの煩雑な諸税を一括して納税することが行われ、清代には^(ニ)三藩の乱を鎮圧した第4代(c)帝から第6代皇帝の治世にかけて、C 制と呼ばれる土地税に人頭税を組みこんで銀納する制度がひろまった。

一方、現在多くの国では紙幣が使用され、そこにはしばしばその国の近代史に関わる人物の像が描かれる。

インドネシアのルピア紙幣には、初代大統領の(d)が描かれているものがある。この初代大統領は、インドネシア国民党の党首としてオランダからの独立を指導した人物である。タイの通貨バーツには、ラタナコーシン(チャクリ)朝の(e)が描かれたものがある。彼は19世紀から20世紀初頭にかけて、西欧列強による東南アジアの植民地化が進むなかでタイの独立を維持し、近代化を進めたことで知られる。^(三)マレーシアのリングgit紙幣には、トゥンク＝アブドゥル＝ラーマンの像が描かれている。彼は、マラヤ連邦の初代首相をつとめ、その後、

マレー半島南端の D , ボルネオ島のサバ, サラワクを合併して成立したマレーシアの初代首相でもある。なお, D は 1965 年にマレーシアから分離・独立した。

インドでは 1996 年から^(え)ガンディーを描いたルピー紙幣が流通している。ベトナムの紙幣にはベトナム青年革命同志会, インドシナ共産党を結成し, ベトナムを独立に導いた E の肖像が描かれている。ベトナムの紙幣は, 主要な紙幣の人物が統一されているという点で, ^(ホ)中華人民共和国の現在の紙幣に^(オ)毛沢東が描かれていることと共通する。

このように, 貨幣を通じて, アジアの歴史を垣間見ることでもある。

問 1 文中の空欄 (a) ~ (e) にあてはまる最も適切な語句を下記の語群の中から選び, 番号で別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| (11) アウン = サン | (12) エジプト | (13) ^{おう もう} 王 莽 |
| (14) 乾 隆 | (15) 項 羽 | (16) ^{こう き} 康 熙 |
| (17) 光 緒 | (18) シハヌーク | (19) 朱熹(朱子) |
| (20) ^{しょう おう} 商 鞅 | (21) ^{じょう げん} 鄭 玄 | (22) ジンナー |
| (23) 新バビロニア | (24) スカルノ | (25) スハルト |
| (26) 陳 勝 | (27) 同 治 | (28) ^{とうちゅうじょ} 董 仲 舒 |
| (29) ネルー | (30) パルティア | (31) マルコス |
| (32) メディア | (33) ^{よう せい} 雍 正 | |
| (34) ラーマ 5 世(チュラロンコン) | (35) リディア(リュディア) | |

問 2 文中の空欄 A ~ E にあてはまる最も適切な語句を考えて, 別紙の解答欄に書き入れよ。ただし, 通常, 漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

問 3 文中の——線部(あ)～(お)に関する以下の問に答えよ。解答は最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

- (あ) この通貨を何と呼ぶか。
- (い) この国号を定めた、モンゴル帝国第5代皇帝は誰か。
- (う) この制度を何というか。
- (え) 1930年からこの人物が組織した、イギリスの専売制度に反対する第二次非暴力・不服従の運動を何というか。
- (お) この人物の主導する中国共産党が1958年から第二次五カ年計画に基づき、農村の行政と経済を一体化した組織は何か。

問 4 文中の〰線部(イ)～(ホ)について次の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

- (イ) この人物に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
 - (1) 倭の奴国に金印を授けた。
 - (2) 張騫^{ちやうけん}を大月氏に派遣した。
 - (3) 塩や鉄の専売をおこなった。
 - (4) 南越国を滅ぼした。
 - (5) 衛氏朝鮮を滅ぼした。
- (ロ) この王朝の時代におこった出来事に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
 - (1) 周敦頤^{しゅうとん い}が儒学を発展させた。
 - (2) 欧陽脩^{おうようしゅう}が古文の復興を唱えた。
 - (3) 徽宗^{きそう}が「桃鳩図」を描いた。
 - (4) 王守仁が陽明学を確立した。
 - (5) 司馬光が『資治通鑑』を著した。

(ハ) この王朝に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 朱元璋が一世一元制を敷いた。
- (2) 永楽帝は繰り返しモンゴルへ遠征した。
- (3) 理藩院により周辺の民族を管理した。
- (4) 衛所制と呼ばれる兵制を整えた。
- (5) 里甲制により村落を管理した。

(ニ) この状況に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) フランスは、ベトナムの宗主権をめぐって清と争った。
- (2) フランスは、カンボジアを保護国化した。
- (3) アメリカ合衆国は、フィリピンを領有した。
- (4) オランダはマレー半島にマレー連合州を形成した。
- (5) イギリスはコンバウン朝を滅ぼし、ビルマをインド帝国に併合した。

(ホ) この国の現代史に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 朝鮮戦争において、義勇軍を派遣し朝鮮民主主義人民共和国を支援した。
- (2) 核実験をおこない、核保有国となった。
- (3) プロレタリア文化大革命がおこり、国内が混乱した。
- (4) 民主化を求めて天安門広場に集まった人々が武力で鎮圧された。
- (5) 大躍進政策を遂行^{すいこう}するために、外資や技術の導入を進める経済特区を定めた。

⑥5

I

2025年度

世界史

問題冊子（1～14ページ）

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見ないこと。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし，解答に関係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (4) 解答用紙上部に印刷してある受験学部・学科コード，受験番号，氏名(カタカナ)を確認し，氏名欄に氏名(漢字)を記入すること。もし，印刷に間違いがあった場合は，手を挙げて監督者に申し出ること。

〔解答用紙記入例（選択式の場合）〕

例 1. 〔語群〕が二桁で（11）大阪（12）佐賀（13）長崎（14）東京 とある場合

問 X	A		B		C	
	16	17	18	19	20	21
	/	2	/	4	/	/

Aの解答が佐賀の場合

Bの解答が東京の場合

Cの解答が大阪の場合

例 2. 〔語群〕が一桁で（1）大学（2）中学校（3）高校（4）小学校 とある場合

問 X	a	b	c
	51	52	53
	/	4	2

aの解答が大学の場合

bの解答が小学校の場合

cの解答が中学校の場合

〔Ⅰ〕 次の文章をよく読み、後記の問いに答えよ。

現在では、奴隷制度は、16～19 世紀のアメリカ大陸の農園で使われた黒人奴隷制度が有名であるが、古代以来、広く人間社会に見られた制度であった。実際、メソポタミア文明では、バビロン第一王朝(古バビロニア)^(a)で編纂されたハンムラビ法典に、奴隷を動産として扱う身分規定が数多く書かれている。以後の地中海周辺に発展した文明においても、各地の状況や文化に合わせつつ、奴隷は広く使われ、社会構造を支える根幹の一つであり続けた。

ギリシア世界では、エーゲ文明期から奴隷制度が存在したが、社会に広く奴隷が普及するのは、前 8 世紀にギリシア各地に成立した都市国家ポリスにおいてであった。ポリスは市民を成員とする共同体であったが、ギリシアでたびたび行われた戦争^(b)での捕虜や債務によって市民が奴隷身分に転落する場合もあった。そのため、前 6 世紀はじめに行われた改革によって市民の奴隷化を防いだアテネのようなポリス^(c)も登場した。ギリシアでは奴隷は農業から家事、乳母、さらには政府書記まで幅広い労働に従事し、前 5 世紀のアテネでは、奴隷人口が自由人を上回っていたとされる。ア の『労働(仕事)と日々』のように、労働を礼賛する作品も書かれていたが、奴隷が普及した結果、アリストテレスなどの知識人が生産労働には奴隷を用いるべきであると唱えるなど、労働蔑視の思想が広まった。こうしてギリシアでは公共活動となった政治^(c)を担う市民と、労働を担う奴隷という区別が広まったのである。

ギリシア以上に大規模に奴隷制度が展開したのが、ローマであった。共和政期のローマでは、十二表法に所有物として奴隷に関する規定が設けられるなど、奴隷制度は法的に確立していた。しかしながら、広く奴隷が使われるようになったのは、前 3 世紀に始まる征服活動^(d)によってローマに大量に奴隷が流入してからである。以後、多い時期には奴隷は人口の 30 % 以上にものぼったという。ローマでも奴隷は幅広い労働に従事したが、とりわけ属州に多く作られた イ と呼ばれる大農園での農業労働に多くの奴隷が使われた。征服活動が展開する中、前 2 世紀後半、グラックス兄弟の改革が行われた。この改革から帝政成立までの内乱の 1 世紀と呼ばれる時期^(e)には、有力者が競って市民に食料を提供しただけでなく、市民向けの娯楽として剣闘士興業を開催した。こうした剣闘士にも奴隷身

分の者が使われていた。帝政期に入ると、帝国各地から奴隷がローマ市民に購入されたが、この時期には、捨てる子も奴隷の供給源となったと言われている。

他方、イスラーム世界でも広く奴隷が使われていた。イスラーム教成立以前からアラブ社会では奴隷が使われていたが、広く普及するのは、7～8世紀の大規模な征服活動による奴隷調達源の拡大以後である。イスラーム法では、イスラーム教徒の奴隷化を禁じる規定があり、奴隷は、異教徒や異民族から調達された。家内労働などでこうした奴隷の多くが使われたが、イスラーム世界の奴隷制度の特徴は、奴隷が主人の個人的な庇護下に置かれた点にあった。その結果、イスラーム王朝の君主は多くの奴隷女性を抱え、アッバース朝の2代目カリフのマンスールや歴代の多くのオスマン帝国のスルタンのように、非ムスリムの奴隷女性を母とする君主も多数輩出された。宮廷には奴隷宦官や、奴隷少年、軍人奴隷がおり、奴隷でありながら高い地位につく者も登場した。例えば、エジプトでは、13世紀半ば、軍人奴隷は ウ 朝を廃し、王朝を建設した。

問 1 文中の空欄 ア ～ ウ にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。

問 2 文中の~~~~線部(い)～(に)に関する以下の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

- (い) この改革を行ったのは誰か。
- (ろ) これによって、ローマが得たイタリア半島外最初の属州はどこか。
- (は) これに関して、トルコ系の軍人奴隷を何というか。
- (に) このうち、ビザンツ帝国を滅ぼした人物は誰か。

問 3 文中の——線部(a)~(h)に関連する下記の問題に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(a) これに関する以下の短文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 鉄製武器を用いた。
- (2) ヒエログリフを考案した。
- (3) ペルセポリスを建設した。
- (4) アムル人によって建国された。
- (5) 唯一神ヤハウエを信仰した。

(b) これに関する以下の短文 i ~ ii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

- i ペロポネソス戦争では、アテネの連合軍がスパルタに勝利した。
- ii カイロネイアの戦いで勝利したマケドニアは、ギリシア諸ボリスとコリントス同盟を結んだ。

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) i—正 ii—正 | (2) i—正 ii—誤 |
| (3) i—誤 ii—正 | (4) i—誤 ii—誤 |

(c) これに関連して、アテネの政治に関する以下の短文 i ~ iii が時代の古い順に正しく並んでいるものはどれか。

- i 陶片追放の制度が成立した。
- ii 成年男子市民が参加する民会が国政の最高機関となった。
- iii ペイシストラトスが政治の実権を握った。

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| (1) i → ii → iii | (2) i → iii → ii | (3) ii → i → iii |
| (4) ii → iii → i | (5) iii → i → ii | (6) iii → ii → i |

(d) この改革に関する以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

- i 征服戦争の結果として没落した中小農民の救済を目指した。
- ii 属州からの安い穀物を無産市民に分配しようとした。
- iii 有力者や元老院の反対で改革は頓挫した。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) i—正 ii—正 iii—正 | (2) i—正 ii—正 iii—誤 |
| (3) i—正 ii—誤 iii—正 | (4) i—正 ii—誤 iii—誤 |
| (5) i—誤 ii—正 iii—正 | (6) i—誤 ii—正 iii—誤 |
| (7) i—誤 ii—誤 iii—正 | (8) i—誤 ii—誤 iii—誤 |

(e) この時期に起こった出来事として誤っているものはどれか。

- (1) スパルタクスの反乱 (2) 同盟市戦争
- (3) 閼族派と平民派の対立 (4) カエサルのガリア遠征
- (5) ローマによるマケドニアの征服

(f) この時期に関する以下の短文のうち、正しいものはどれか。

- (1) エジプトがローマに併合された。
- (2) 五賢帝の一人が『自省録』を著した。
- (3) ディオクレティアヌス帝がキリスト教を公認した。
- (4) ローマ軍がササン朝のシャープール1世を捕虜にした。
- (5) トラヤヌス帝が帝国内の全自由民にローマ市民権を与えた。

(g) これに関して、ウマイヤ朝が新たに征服した地域として正しいものはどれか。

- (1) イベリア半島 (2) イラン (3) エジプト
- (4) シリア (5) メッカ

(h) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) イラン人(ペルシア人)を官僚に登用した。
- (2) 首都としてバグダードを造営した。
- (3) トゥール・ボワティエ間の戦いを行った。
- (4) タラス河畔の戦いで唐軍を破った。
- (5) ハールーン＝アッラシードの時代に最盛期を迎えた。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

20世紀は戦争の世紀であった。特にその前半、1945年までの間に、人類は2つの世界大戦を経験した。第一次世界大戦は、それまでの戦争とは異なる様相を見せたといわれるが、それを象徴する言葉が A であろう。この A 体制下、各国政府は企業の生産活動を管理し、配給制を導入するなど、国民生活が統制された。また、政府や、社会主義政党も含めた諸政党が互いに協力する挙国一致体制が作られた。このように、新たな戦争の形態であった第一次世界大戦は、ドイツなどの同盟国に対して戦っていたイギリスなどの協商国側に立ってアメリカ合衆国が参戦し、ドイツが降伏することで終結した。

第一次世界大戦後、ドイツでは民主的なヴァイマル憲法が制定された。これ以降のドイツはヴァイマル共和国とも呼ばれ、戦争の責任を一身に背負うことになった。ヴェルサイユ条約では、ドイツは巨額な賠償金を課されたほか、多くの^(a)領土と人口を失った。1923年には、フランスとベルギーによるルール占領にドイツは不服従運動で抵抗した。その結果、生産力が低下して激しいインフレーションが進行し、国民の生活は非常に苦しいものとなった。ただし、シュトレゼマン内閣が B を発行してインフレを沈静化させたことに加え、アメリカの協力を得て賠償金支払いが緩和され、アメリカ資本が導入されたことから、経済は立て直された。

このドイツ経済に大きな打撃を与えたのは、1929年にニューヨーク株式市場で株価が暴落したことから始まった C である。その結果、アメリカ資本に依存していたドイツ経済は深刻な状態に陥った。経済的、政治的に不安定な状況が強まる中、ナチ党などの政党が不満を持つ国民の支持を集めた。ナチ党は、党首ヒトラーのもとで、「強いドイツ」をアピールし、国民のナショナリズムを煽った。彼らは、ユダヤ人排斥、^(b)パリ講和会議を通して成立したヴェルサイユ体制^(c)の打破、ドイツ民族共同体の建設などを唱え、大衆を扇動した。社会不安の広がりとともに、ナチ党は選挙での議席を伸ばし、1932年には議会第一党へと上り詰めた。翌年、ヒトラーは大統領ヒンデンプルクによって首相に任命され、ナチ党は権力を掌握した。そしてヒトラーは、ヴァイマル体制の破壊に向けて法整備を続けていった。彼らは、ナチ党以外の政党や労働組合を解散させ、^(ア)一党独裁

体制を作り上げた。独裁体制を導くことになったのが、1933年に制定された D 法である。ヒンデンプルクの死後、ヒトラーは大統領の権限も合わせ持つ総統を名乗り、独裁者となった。ヒトラー政権は、経済の立て直しと国民生活の改善に努めた。^(d)

こうして国内体制を固めたナチス＝ドイツは国際連盟を脱退し、住民投票によってザール地方を編入するなど、対外的にも強硬な姿勢を強めた。一方、ナチス＝ドイツやイタリアのようなファシズム国家の台頭に抗して、コミンテルンは反ファシズムの立場で広範な連帯を呼びかけた。^(イ)この呼びかけに応じて作られたスペインの政権に対抗して、地主層などの保守勢力の支持を受けたフランコ率いる軍隊が反乱を起こし、1936年にスペイン内戦が起こった。ドイツとイタリアが反乱軍を軍事支援する一方、欧米などから国際義勇軍が結集し対抗したが、内戦は反乱軍の勝利に終わった。このような反ファシズムの運動に対して、ドイツは1936年に日本と協力関係を築き、のちにイタリアも参加して1937年には三カ国の協力体制が構築された。^(ウ)

1938年になると、ドイツの行動はますます拡大することになった。同年3月にオーストリアを併合し、9月にはチェコスロヴァキア国内でドイツ人が多く居住するズデーテン地方の割譲を要求した。^(エ)さらにドイツは、チェコスロヴァキアを解体して、チェコについては保護領として編入するとともに、スロヴァキアを従属国化した。こうした領土拡大の動きは東方へと向けられ、1939年9月1日、ドイツはポーランド侵攻を開始した。^(オ)これに対してイギリス、フランスがドイツに宣戦し、第二次世界大戦が始まった。さらに、1941年6月にドイツ軍は突如ソヴィエト連邦に侵攻し、独ソ戦が開始された。当初、ソ連軍は後退を重ねたが、やがて押し返し、対独戦争を続けていたイギリスとソ連は同盟を結ぶに至った。ソ連軍はスターリングラードでの戦いに勝利して反転攻勢に転じ、東部からドイツへ迫った。一方、イギリス軍やアメリカ軍を中心とする連合国軍はフランス北西部の E に上陸し、パリを解放した。ドイツは東西から挟撃され、1945年にはヒトラーが自殺して無条件降伏した。同年8月に日本が同じく無条件降伏することで第二次世界大戦は終結し、再び戦後秩序の構築が模索されることになった。^(e)

問 1 文中の空欄

A

 ～

E

 にあてはまる最も適切な語句を、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

問 2 文中の~~~~線部(ア)～(オ)に関する以下の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

- (ア) これらのうち、ナチ党が国会議事堂放火事件を利用して弾圧した政党は何か。
- (イ) この呼びかけのもとで結成された反ファシズム勢力の連合を何というか。
- (ウ) この体制のもとで結ばれた協定は何か。
- (エ) この要求について討議したミュンヘン会談において、イギリスとフランスがとった政策を何というか。
- (オ) これが行われた背景として、ドイツがソ連との間で 1939 年に結んでいた条約は何か。

問 3 文中の——線部(a)～(e)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(a) これについて述べた以下の短文 i ～ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i ラインラントがフランスに割譲された。

ii ダンツィヒはソ連の管理下に置かれた。

iii アルザス・ロレーヌはドイツ領にとどまった。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) i—正 ii—正 iii—正 | (2) i—正 ii—正 iii—誤 |
| (3) i—正 ii—誤 iii—正 | (4) i—正 ii—誤 iii—誤 |
| (5) i—誤 ii—正 iii—正 | (6) i—誤 ii—正 iii—誤 |
| (7) i—誤 ii—誤 iii—正 | (8) i—誤 ii—誤 iii—誤 |

(b) これに関連する以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i 第二次世界大戦期、ユダヤ人はアウシュヴィッツ強制収容所などに集められ、その絶滅がはかられた。

ii ナチスによる排斥行為は、その対象をユダヤ人に限定して進められた。

iii 戦後、西ドイツのブラント首相はポーランドを訪問し、ナチス＝ドイツの残虐行為について謝罪した。

(1) i—正 ii—正 iii—正 (2) i—正 ii—正 iii—誤

(3) i—正 ii—誤 iii—正 (4) i—正 ii—誤 iii—誤

(5) i—誤 ii—正 iii—正 (6) i—誤 ii—正 iii—誤

(7) i—誤 ii—誤 iii—正 (8) i—誤 ii—誤 iii—誤

(c) これについて述べた以下の短文のうち、正しいものはどれか。

(1) ヴェルサイユ体制下に創設された国際連盟は、国際平和機構として米ソ両大国を中心に運営された。

(2) パリ講和会議の結果、日英同盟が解消された。

(3) オーストリアは、第一次世界大戦の講和条約としてサン＝ジェルマン条約を結んだ。

(4) フランスとドイツの二国間で不戦条約が結ばれた。

(5) ハンガリーは、第一次世界大戦の講和条約としてヌイイ条約を結んだ。

(d) これについて述べた以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

- i 経済政策の一環として、全国産業復興法(NIRA)が制定された。
- ii 軍需産業に労働者を吸収し、失業者を減らした。
- iii ブロック経済を採用し、自国通貨の経済圏を作ることによって経済不安を克服した。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) i—正 ii—正 iii—正 | (2) i—正 ii—正 iii—誤 |
| (3) i—正 ii—誤 iii—正 | (4) i—正 ii—誤 iii—誤 |
| (5) i—誤 ii—正 iii—正 | (6) i—誤 ii—正 iii—誤 |
| (7) i—誤 ii—誤 iii—正 | (8) i—誤 ii—誤 iii—誤 |

(e) これについて述べた以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) アメリカ、イギリス、中国の首脳が集まったカイロ会談では、戦後の対日処理方針を定めたカイロ宣言が合意された。
- (2) ヤルタ会談では、アメリカ、イギリス、ソ連の首脳によってドイツや東欧の戦後処理の方針について討議された。
- (3) ベルリン郊外のポツダムに集まったアメリカ、イギリス、フランス、ソ連の首脳は、戦後ドイツの管理に関する問題を討議した。
- (4) 国際連合には、総会とともに安全保障理事会がおかれた。
- (5) 国際経済秩序に関しては、ブレトン＝ウッズ体制が構築された。

〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

アジアにおいて、教育や学習はどのような形で行われてきたのか。ここでは、施設や制度、宗教を通して考えてみたい。

中国における教育施設は、早くから存在したと言われている。『孟子』には、夏・A・周の三王朝期にはすでに「校」や「序」と呼ばれる施設(小学)が存在し、子どもに養老や射礼(弓を射る儀礼)などを教えていたことが記述されている。前漢時代には、董仲舒(とうちゅうじょ)により、五経博士(ごけいはくし)の設置や国の最高学府である太学の設立が唱えられ、それ以降、儒学が政治に重要な役割を果たすようになった。
(a) 身分や家柄が重視された西晋の武帝期には、卿大夫(官僚・貴族)の子弟教育機関として、太学とは別に国子学が設けられた。唐代には、長安に国子学・太学などの教育機関があり、これらを統括する中央の行政機関として国子監が設置された。
(b) しかし、宋代に入り、科举制度が整備されるとともに、太学の官僚養成機関としての役割は失われていった。
(c) 明代には、諸教育機関と教育行政機関は、「国子監」という名の下に統合され、以後、清末までこの名称が引き継がれた。

律令制や科举制度などを受容した周辺諸国でも、官僚養成機関としての教育施設が設置された。『三国史記』によれば、高句麗では372年に前秦からの仏僧を受け入れると同時に、第17代王の小獸林王が太学を設立し、儒学による教育を行ったという。また、官立高等教育機関として、新羅は国学を、高麗は国子監を設けたが、高麗末期、国子監は成均館へと改称され、朝鮮王朝期にもその名称が引き継がれた。
(d) 11世紀後半、大越(李朝)では、都の昇竜(ハノイ)に孔子をまつ施設と儒学の教育機関が設けられ、科举が導入された。
(e) この制度は阮朝まで引き継がれ、1803年、フエに国子監が置かれたが、1919年を最後として科举および国子監は廃止された。

また、近世の東アジアには、上記のような官立の教育機関に対して、私立の教育機関にあたる書院が数多く造られた。
(f) 宋代以降、B階級の勃興とともに教育に対する要求が高まったことがその要因として指摘されている。中国江西省の白鹿洞書院は、世界遺産である廬山の構成資産に含まれており、また近年、朝鮮王朝の紹修書院・陶山書院なども「書院、韓国の性理学教育機関群」として世界遺産に登録され、注目を集めている。

一方インドでは、5世紀の初め、グプタ朝期^(ト)に建設された 僧院が、仏教学院として教学の中心を担い、アジア各国から留学僧が集まったが、13世紀頃にイスラーム勢力の侵入によって破壊された。また10世紀頃より、イスラーム世界にも法学を教育・研究するための学院(マドラサ)が建設されはじめた。その著名なものとしては、ファティマ朝期^(チ)にカイロに建てられたアズハル学院や、セルジューク朝期にイラン人の宰相 によって創設され、その後主要都市に造られていったニザーミーヤ学院などがある。

このように、前近代のアジアでは、教育が政治体制や倫理・宗教などと密接に関わり合って行われていたことがうかがえる。近代以降、日本が明治維新^(リ)を経て列強の仲間入りを果たすと、中国でも康有為がそれを模範として を行い、憲法制定や教育の画一化などを含む改革を試みた。

問 1 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

問 2 文中の——線部(a)～(f)に関する以下の問に答えよ。解答は最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

- (a) 魏に始まり、この頃にも行われていた地方の優秀な人材を推薦する官吏登用制度は何か。
- (b) この機関では、当時遣唐使として留学し、中国で安南節度使などの高い地位についた日本人も学んだとされているが、その人物は誰か。
- (c) この時代に関して、洪武帝が民衆教化のために発布した6カ条の教訓を何というか。
- (d) この国は唐の官僚制を受容したが、その運用は血縁的な身分制度を基盤としていた。この身分制度を何というか。
- (e) この国では、清に服属しつつも、清を夷狄^{いてき}とみなし、自らを明を継ぐ正統な中国文化の継承者とする意識が芽生えたが、これを何というか。
- (f) 中国宋代のこうした書院では、宋学を集大成した人物も講義を行ったとされるが、四書を重視し、大義名分論を主張したこの人物は誰か。

問 3 文中の~~~~線部(イ)~(リ)に関する以下の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に番号で記入せよ。

(イ) この文献が編纂された戦国時代の状況について説明した以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 牛耕農法が開発された。
- (2) 鄒衍^{すうえん}が五行説を主張した。
- (3) 郡国制がしかれた。
- (4) 青銅貨幣が各国でつくられた。
- (5) 荀子が礼の実践を説いた。

(ロ) これに含まれないものは、以下のうちどれか。

- (1) 『易経』 (2) 『詩経』 (3) 『書経』
- (4) 『礼記』 (5) 『論語』

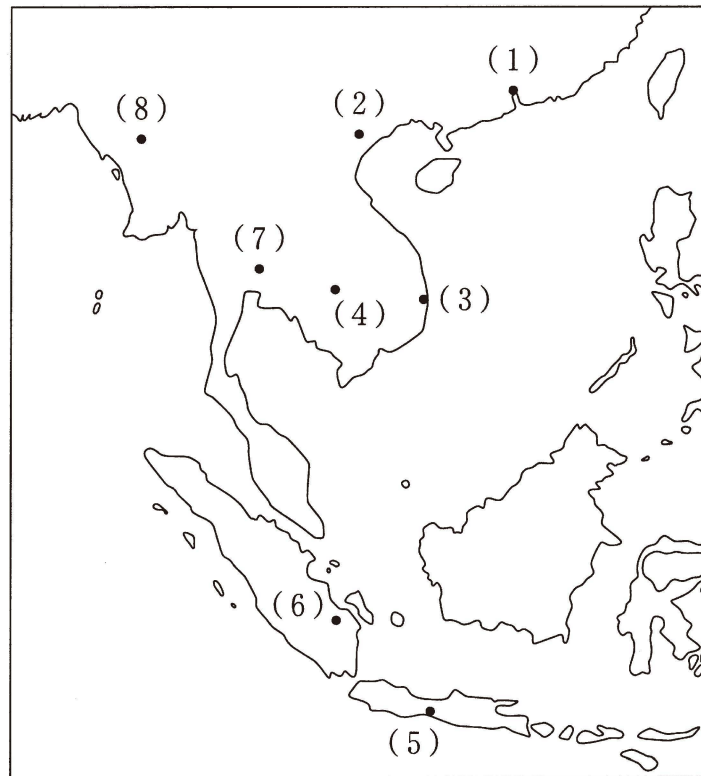
(ハ) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 隋の文帝が科挙を導入した。
- (2) 光緒新政では、科挙が廃止され、新たな学校制度が整備された。
- (3) 元では、儒学や科挙の役割が後退した時期があった。
- (4) 明代以降、殿試と呼ばれる最終試験が宮中で行われた。
- (5) 則天武后(武則天)は科挙官僚を積極的に登用した。

(ニ) この国に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 独自の青磁がつくられた。
- (2) モンゴルに服属した。
- (3) 金属活字が発明された。
- (4) 前期倭寇に悩まされた。
- (5) 広開土王の時に勢力が拡大した。

(ホ) この場所は、以下の地図の(1)～(8)のうち、どこに位置するか。



(ヘ) この王朝期の出来事に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ファン＝ボーイ＝チャウらがドンズー(東遊)運動を組織した。
- (2) 西山政権を亡ぼして、阮朝が南北を統一した。
- (3) 元の侵攻を退けた。
- (4) フランスの保護国とされた。
- (5) 国号を越南とした。

(ト) この王朝、およびこの時代のインドで起こった出来事に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ガンダーラ様式が成立した。
- (2) 遊牧民の侵入と地方勢力の台頭により滅亡した。
- (3) サンスクリット文学が興隆した。
- (4) ゼロの概念がうみだされた。
- (5) チャンドラグプタ 2 世の時に最盛期を迎えた。

(チ) この王朝に関する以下の短文のうち、正しいものはどれか。

- (1) サラーフ＝アッディーン(サラディン)によって建国された。
- (2) ガーナ王国を攻撃した。
- (3) イクター制を開始した。
- (4) シーア派の王朝であった。
- (5) モンゴル勢力を撃退した。

(リ) これに関連して、明治政府発足以降に締結された国家間の取り決めとして、誤っているものはどれか。

- (1) 樺太・千島交換条約
- (2) 日清修好条規
- (3) 日朝修好条規
- (4) 日米修好通商条約
- (5) ポーツマス条約

⑥⑥

I

2025年度

世界史

問題冊子（1～12ページ）

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないこと。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし、解答に係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (4) 解答用紙上部に印刷してある受験学部・学科コード、受験番号、氏名(カタカナ)を確認し、氏名欄に氏名(漢字)を記入すること。もし、印刷に間違いがあった場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。

〔解答用紙記入例（選択式の場合）〕

例 1. 〔語群〕が二桁で（11）大阪（12）佐賀（13）長崎（14）東京 とある場合

問 X	A		B		C	
	16	17	18	19	20	21
	/	2	/	4	/	/

Aの解答が佐賀の場合

Bの解答が東京の場合

Cの解答が大阪の場合

例 2. 〔語群〕が一桁で（1）大学（2）中学校（3）高校（4）小学校 とある場合

問 X	a	b	c
	51	52	53
	/	4	2

aの解答が大学の場合

bの解答が小学校の場合

cの解答が中学校の場合

〔Ⅰ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

西暦 800 年、ローマ教皇レオ 3 世は、カロリング家のフランク王 A を
(a)ローマ皇帝として戴冠した。この出来事によって、西ヨーロッパ中世世界が誕生
したとされる。A の没後、フランク王国は、東フランク王国、西フラン
ク王国、イタリア王国の 3 つに分裂した。カロリング家の血統が絶えた東フラン
ク王国では、ザクセン家の王(ア)が 962 年にローマ皇帝に戴冠された。これ
が、のちの神聖ローマ帝国の起源とみなされている。西フランク王国でもカロリ
ング家の血統が絶え、パリ伯の B が 987 年に王位についた。西フランク
王国は、のちにフランス王国と呼ばれるようになる。

他方、かつてローマ帝国の属州が設置されていた大ブリテン島には、ゲルマン
人の一派である(イ)人が来航し、7 つの小王国に分かれて定住した。
(イ)人が統一王国を完成させた後、10 世紀になると、その支配者はイング
ランド王を名乗るようになっていった。

これらの現在につながる国家の原型が形成されつつあった時期に、スカンディ
ナヴィア半島やユトランド半島に住んでいたノルマン人は、船団を組んでヨー
ロッパ各地に進出していた。ヴァイキングとも呼ばれた彼らは、本拠地では農業
を営み、略奪とともに交易もおこなった。

10 世紀初め、(ウ)を首領とするノルマン人の一派は、フランス北部に上
陸して河川をさかのぼり流域を襲撃した。当時の西フランク王は、キリスト教へ
の改宗と王への誠実宣誓を条件に、彼らが王領内に C 公国を建設するこ
とを認めた。ここからさらに分かれた一派は、南イタリアとシチリア島に進出し
た。十字軍遠征などの機会もあいまって、隣接するビザンツ帝国やイスラーム教
(b)勢力と対峙しつつ、(c)彼らは 12 世紀にシチリア王国を建設した。

広い地域で活動したノルマン人のひとりに、「^{かれつ}苛烈王」と呼ばれるノルウェー王
ハーラル 3 世(在位 1046～66 年)がいる。ノルウェー王オーラヴ 2 世の弟であつ
た彼は、兄が王位をめぐる争いの中で戦死すると、キエフ公国へと亡命した。

キエフ公国は、ドニエプル川流域のスラヴ人地域に進出した(エ)を首領と
(d)するノルマン人の一派によって建国された。ハーラルが亡命した当時の公国の支
配者は、ヤロスラフ賢公であった。ヤロスラフ賢公は、ビザンツ皇帝の妹を妃に

迎えてギリシア正教に改宗した D の息子である。ハーラルはヤロスラフ賢公に仕えた後に、ビザンツ帝国におもむいた。ハーラルは、軍人としてビザンツ皇帝に仕えて、西はシチリア島から東はメソポタミアにいたる地域での戦役に参加し、巨万の富を築き上げた^(e)とされる。成功をおさめたハーラルはキエフ公国に戻って、ノルウェーに帰還する機会をうかがった。

ハーラルの兄オーラヴ2世の次のノルウェー王は、イングランド王とデンマーク王を兼ねて大王と呼ばれたノルマン人の E である。彼の父デンマーク王スヴェン1世は、(イ)人からイングランドの王位を奪っていた。父の死後に E はイングランドの王位を、兄の死後にデンマークの王位も継承した。

北海をまたぐ海域世界に覇を唱えた E の死後、ハーラルは、ビザンツ帝国で得た富を背景に故郷に凱旋^{がいせん}し、1046年にノルウェー王ハーラル3世となった。その頃、イングランド王位は(イ)人の手に戻っていた。(イ)人のハロルド2世が1066年1月にイングランド王に即位すると、ノルウェー王ハーラル3世はこれに対抗した。彼はイングランド北部に遠征して緒戦に勝利をおさめたが、ハロルド2世の奇襲によって同年9月に戦死した。

同年10月、そのハロルド2世も、王位を請求してイングランド南部に上陸した C 公ギヨームに敗れて戦死した。(ウ)の子孫であるギヨームは、イングランド王ウィリアム1世として即位し、ノルマン朝を開いた。この結果、フランス王と対等のイングランド王が、フランス王国内ではフランス王の臣下であるという複雑な関係が生じた。このことは、百年戦争の背景のひとつとなった。^(f)

問1 文中の空欄 A ~ E にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

問 2 文中の空欄(ア)～(エ)にあてはまる最も適切な語句を、下記の語群の中から選び、その番号を別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

- | | | |
|--------------------|----------------|-------------|
| (11) アッティラ | (12) アングロ＝サクソン | (13) ヴァンダル |
| (14) オットー 1 世 | (15) オドアケル | (16) クローヴィス |
| (17) テオドリック | (18) ハインリヒ 4 世 | (19) バトゥ |
| (20) 東ゴート | (21) ピピン | |
| (22) フリードリヒ 2 世 | (23) ヨーゼフ 2 世 | (24) ランゴバルド |
| (25) リューリク(リューリック) | | (26) ロ ロ |

問 3 文中の下線部(a)～(f)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

(a) この地位にある人物に関する出来事 i ～ iii が、時代の古い順に正しく並んでいるものはどれか。

i 教皇グレゴリウス 7 世がドイツ王(のちの神聖ローマ皇帝)を謝罪させた。

ii 教皇ボニファティウス 8 世がフランス王に捕らえられた。

iii メディチ家出身の教皇レオ 10 世が贖宥状(免罪符)を販売した。

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| (1) i → ii → iii | (2) i → iii → ii | (3) ii → i → iii |
| (4) ii → iii → i | (5) iii → i → ii | (6) iii → ii → i |

(b) この遠征軍に関する以下の短文 i ～ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i 第 4 回十字軍がラテン帝国を建てた。

ii トゥグリル＝ベクにイエルサレムを奪回された。

iii トリエント公会議で派遣が提唱された。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) i—正 ii—正 iii—正 | (2) i—正 ii—正 iii—誤 |
| (3) i—正 ii—誤 iii—正 | (4) i—正 ii—誤 iii—誤 |
| (5) i—誤 ii—正 iii—正 | (6) i—誤 ii—正 iii—誤 |
| (7) i—誤 ii—誤 iii—正 | (8) i—誤 ii—誤 iii—誤 |

- (c) この国に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
- (1) 皇帝コンスタンティヌスが『ローマ法大全』を編纂^{へんさん}させた。
 - (2) 皇帝レオン3世が聖像禁止令を発布した。
 - (3) 首都にハギア＝ソフィア(聖ソフィア)聖堂が建立された。
 - (4) 純度の高いソリドゥス金貨(ノミスマ)がつくられた。
 - (5) プロノイア制がおこなわれた。
- (d) この民族に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
- (1) クロアチア人(クロアチア人)はローマ＝カトリックに改宗した。
 - (2) セルビア人はギリシア正教に改宗した。
 - (3) チェック人(チェコ人)の国は神聖ローマ帝国に編入された。
 - (4) ポーランド人はリトアニア人と同君連合を結んだ。
 - (5) ロシア人はピョートル1世の時代にモンゴルの支配から解放された。
- (e) この地域に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
- (1) シュメール人の都市国家がつくられた。
 - (2) 陶片追放(オストラキスモス)の制度がつくられた。
 - (3) 『ハンムラビ法典』が発布された。
 - (4) ヒッタイト人がバビロン第1王朝(古バビロニア王国)を滅ぼした。
 - (5) 六十進法が使用された。
- (f) この戦争に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
- (1) イングランド王ヘンリ2世がフランス王位継承権を主張した。
 - (2) この戦争後、イングランドでバラ戦争がおこった。
 - (3) この戦争中に、黒死病が流行した。
 - (4) この戦争中に、フランスでジャックリーの乱がおこった。
 - (5) フランス軍を率いたジャンヌ＝ダルクがオルレアンを解放した。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

20 世紀には、しばしば、戦後処理や新国家建設などの際に、大規模な住民の移動が行われた。移動の中で多くの生命と財産が失われたが、現在世界にある各国家の構成員は、このような住民移動によって形成された面も大きい。国家の再編が大規模な住民の移動を伴う事態は、近代という時代を象徴している。

1923 年には、ギリシアとトルコとの間で住民交換協定が結ばれ、トルコ領内に住むギリシア系住民約 90 万人がギリシアに送られ、逆にギリシアに住むムスリム住民約 20 万人がトルコに送られた。その背景には、オスマン帝国の崩壊があった。13 世紀末に成立したオスマン帝国は、東地中海周辺地域に領土を拡大したが、^(a)それに際して、ギリシア人をはじめ、^(あ)複数の非ムスリムや民族を統治する多民族帝国となった。西洋列強の圧迫の中、19 世紀からオスマン帝国は近代化を図るが、重大な転機は第一次世界大戦での敗北であった。戦後処理を定めた 1920 年の A 条約で、^(b)オスマン帝国は、帝国の領土を列強に奪われ、また関税自主権剥奪など厳しい措置を飲まされた。このような状況の中、軍人ムスタファ＝ケマルは抵抗運動を組織してアンカラに政府を設立し、小アジア半島に出兵したギリシアにも勝利して、トルコ共和国を成立させた。^(c)ケマルは、トルコ復興のために改革政策を採用するが、その際に重視したのがトルコ国民の創出であった。アルメニア人など領内の異民族に対する厳しい弾圧と排除、そして敵対するギリシアとの住民交換は、こうした政策の一環だったのである。

第二次世界大戦後には、東欧からドイツ系住民がドイツ本国へと移動させられている。その数は約 1500 万人と大規模なものであった。ドイツ系の人びとは、12 世紀以来、東欧へと植民し、19 世紀になるまでには、ロシア、^(d)ポーランド、チェコなど東欧の広い範囲に居住していた。1933 年にドイツでナチスが政権を握ると、ゲルマン民族の一体化を掲げ、^(い)東欧のドイツ系住民の保護を目指した政策を取った。さらに 1939 年にソ連と B 条約を結んで、ポーランドに侵攻して以後、ドイツは、同条約の秘密協定に則って制圧した西部地域でポーランド人やユダヤ人の追放・排除を行い、そこに東欧のドイツ系住民を入植させて^(s)「ドイツ民族共同体」を広げる政策を実行した。^(e)1945 年にドイツが連合国に敗れると、ナチス政権期の入植者だけでなく、中世以来のドイツ系住民も強制的に移動させられた。追放者は暴行を受け、飢餓状態も相まって、約 300 万人が移動中

に死亡したとされる。

第二次世界大戦後には、インドとパキスタンの間で住民移動が行われた。ここでも約 1500 万人という非常に多くの住民が故郷を追われ、隣国への移動を強いられた。このような事態は、インド独立の方針をめぐる対立に端を発する。16 世紀に成立したムガル朝も、多くの宗教・民族を包摂する体制であった。19 世紀半ばに完成したイギリス支配の下、インド人は政治運動を開始するが、1905 年に発表された C にインド国民会議が反対するなど、宗教の違いを超えた植民地支配への抵抗が運動方針として掲げられた。だが、次第に独立をめぐる宗教間の対立は深まった。第二次世界大戦後、イギリスはインドの独立を認めたが、ジンナーの率いる党派は、ガンディーらの率いる国民会議派の求める統一インドとは別の独立方式を主張した。^(g) こうして 1947 年にはそれぞれ異なる宗教の教徒が主体となった、インドとパキスタンが成立した。その結果、パキスタンに居住するシク教徒や(α)教徒の住民、インドに居住する(β)教徒の住民が移動を強いられたのである。その後も、独立したインドとパキスタンは敵対関係となり、^(え) 現在も両国の紛争は続いている。

問 1 文中の空欄 A ~ C にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記されるものは、正しい漢字で書け。

問 2 文中の~~~~線部(あ)~(え)に関連する以下の問に答えよ。解答は別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記されるものは、正しい漢字で書け。

- (あ) この際に非ムスリムに課せられた人頭税を何と言うか。
- (い) このうちヒトラーがチェコスロヴァキアに割譲を要求した地方はどこか。
- (う) こうした人びとが建国した国と周辺諸国が 1948 年に開始した戦争は何か。
- (え) 両国が領有権をめぐって争う国境地帯の地方はどこか。

問 3 文中の空欄(α)(β)にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。

問 4 文中——線部(a)~(g)に関連する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に書き入れよ。

(a) これに関する出来事 i ~ iii が時代の古い順に正しく並んでいるものはどれか。

i スレイマン 1 世が、ハンガリーを征服した。

ii メフメト 2 世が、コンスタンティノープルを攻略した。

iii セリム 1 世が、メッカとメディナの保護権を手に入れた。

(1) i → ii → iii (2) i → iii → ii (3) ii → i → iii

(4) ii → iii → i (5) iii → i → ii (6) iii → ii → i

(b) これに関する以下の短文 i ~ ii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

i イギリスは、エジプトを委任統治領とした。

ii フランスは、シリアを委任統治領とした。

(1) i—正 ii—正 (2) i—正 ii—誤

(3) i—誤 ii—正 (4) i—誤 ii—誤

(c) 以下の事項のうち、これに関するものとして誤っているものはどれか。

(1) ローマ字の採用 (2) カリフ制の廃止

(3) 女性参政権の成立 (4) イェニチェリの廃止

(5) 太陽暦の採用

(d) この国の歴史に関する以下の短文のうち、正しいものはどれか。

(1) カルマル同盟を結成した。

(2) ヤゲヴォ朝の断絶後、選挙王政に移行した。

(3) フランス、オーストリア、ロシアに分割された。

(4) コッシュートが独立運動を率いた。

(5) ベルリン条約で独立した。

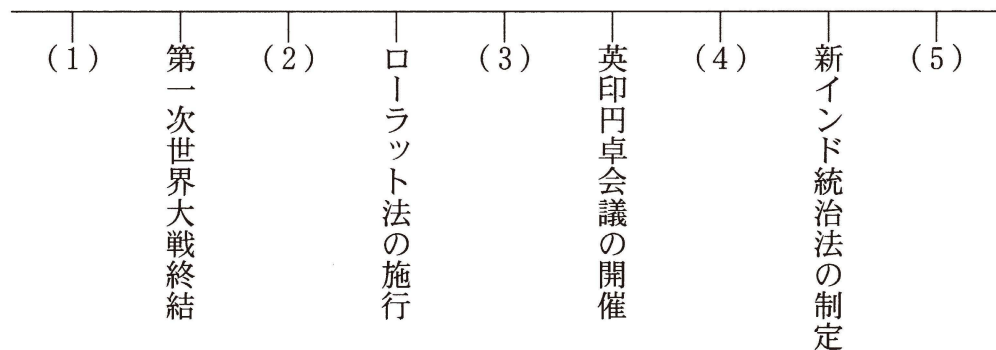
(e) この国の戦後に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) ニュルンベルク国際軍事裁判で、ナチス＝ドイツの指導者が裁かれた。
- (2) アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ソヴィエト連邦が分割占領した。
- (3) ブラント首相のもとで、西ドイツは主権を回復した。
- (4) 西ドイツは、フランスなどの諸国とヨーロッパ経済共同体を発足させた。
- (5) 東ドイツは、ベルリンの壁を建設した。

(f) これに関連する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) インド＝イスラーム建築のタージ＝マハルが建造された。
- (2) アウラングゼーブは、ヒンドゥー教寺院を破壊した。
- (3) 仏教徒がマラーター王国を建てた。
- (4) パンジャブ地方で、シク教が成立した。
- (5) ペルシア語が公用語の一つとされた。

(g) 以下は、インド独立に向かう政治的展開を時系列に沿って示した図である。この人物の率いた政治運動「塩の行進」が行われた時期として正しいものは図の(1)～(5)のうちどれか。



〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、後記の問に答えよ。

中国の歴史において、女性が男性をしのぐ権力者になることは「牝鶏司晨^{ひんけい し しん}」と呼ばれ、^(イ)「めんどりが夜明けをつげる」こと、すなわち「ありえないこと、あってはならない不吉なこと」と批判される。しかし実際には皇帝自身に何らかの問題があった場合、その正妻(皇后)・母(皇太后)・祖母(太皇太后)などが政治をとりしきることもあった。こうした時、女性が男性の目にふれるのを避けるため^{すだれ}簾の背後にとどまりながら政治をとることを「垂簾聴政^{すいれんちょうせい}」という。中国史上のそうした女性の例を見てみよう。

皇帝制度を創始した^(a)始皇帝については、皇后をたてた記録がない。現在知られる最初の皇后は、前漢高祖(あ)の皇后、呂氏である。(い)の『史記』は彼女が高祖と「共に天下を定めた」と述べている。だが夫の死後、息子や孫の治世においては、自らの呂一族ばかりを取りたてるなどして反発を招き、後世でも批判されている。後漢でも朝廷においては皇后の親戚を中心とする外戚と、去勢された男性たちである A が交互に専政を行う時代が続いた。そうした中でも後漢和帝の皇后鄧氏は、『漢書』の編纂者(う)の妹から講義をうけるなど教養を備え、夫の死後には幼帝を支えて高く評価されている。

五胡の一つ B の拓跋氏が建てた北魏では、文成帝の皇后馮氏^{ふうし}は彼が亡くなった後、息子の献文帝、孫の孝文帝を補佐し、一時は彼女自ら政治をとりおこなったともいわれる。特に^(b)孝文帝の国家運営には、彼女の影響が強く働いていた。キタイ^(イ)(契丹)の景宗の皇后蕭氏は、景宗の死後に息子の聖宗が即位すると、その後二十年以上にわたって摂政を務めた。戦争や^(c)宋朝との1004年の和約締結に際しても彼女が事実上キタイの最高司令官として軍を指揮したという。北方の^(d)騎馬遊牧民の文化には支配者の母親に強い権限を認める気風があり、彼女らの活動もその延長上にあったと言える。

他方、C を都とする北宋においても同じ時期、真宗の皇后となった劉氏が夫の死後に幼い仁宗を十年以上補佐しているが、女帝となるまで権力を拡大させることはなく、「呂武の才有りて、呂武の悪なし(呂氏や武則天のような才能はあるが、同じような邪悪さはなかった)」と称賛されている。その後の北宋・^(ニ)南宋の歴史においても何度か垂簾聴政は行われたものの、皇后などによって国政

が翻弄されることはなかった。宋学の説く儒教道德や官僚制度の発達によって彼女らの行動も規制され、むしろ、宋の危機にあつて国を支えたと評されている。

洪武帝こと(え)の建てた明では、正式な垂簾聴政の事例はおよそ無い。原因の一つには、やはり儒教道德のさらなる浸透があげられる。たとえば首都を D に移した永楽帝の皇后徐氏など、明の皇后や妃は自ら女性向けの道德書を記してさえいた。その背景には明代における出版文化の発達があつた。

清では西太后などによる垂簾聴政が複数回あつた。彼女は咸豊帝かんぽうていの側室であつて正妻たる皇后になつたことはなかったが、実子の同治帝、妹の子である光緒帝の治世において実権を握つた。光緒帝の下での改革であつた E の変法を挫折させ、乱を起こした義和団^(e)を支持して諸外国との戦争を招き、わずか二歳の宣統帝(お)を擁立したのが彼女である。彼女のイメージこそ、歴史上の垂簾聴政全体に投影され、その評価を著しく悪化させてきたと言えるだろう。

問 1 文中の空欄(あ)～(お)にあてはまる最も適切な語句を下記の語群の中から選び、その番号を別紙の解答欄に記入せよ。

〔語 群〕

(11) 袁世凱えんせいがい

(12) 王 莽おう もう

(13) 欧陽 脩おうようしゅう

(14) 項 羽

(15) 蔡 倫さい えん

(16) 司馬睿えい

(17) 司馬炎

(18) 司馬光

(19) 司馬遷

(20) 朱 熹

(21) 朱元璋しゅげんしょう

(22) 朱全忠

(23) 徐光啓

(24) 曾国藩そうこくはん

(25) 張 騫けん

(26) 鄭 和

(27) 董仲舒とうちゅうじょ

(28) 班 固

(29) 班 超

(30) 溥 儀ふ ぎ

(31) 李鴻章り こうしょう

(32) 劉 秀

(33) 劉 備

(34) 劉 邦

(35) 梁啓超

問 2 文中の空欄 A ～ E にあてはまる最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

問 3 文中の——線部(a)～(e)に関する以下の問に答えよ。解答は最も適切な語句を考えて、別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は、正しい漢字で書け。

- (a) この人物の施行した、各行政単位に官僚を派遣する地方統治体制を何と
いうか。
- (b) これについて、隋・唐にうけつがれる土地配分制度を何と
いうか。
- (c) これを何と
いうか。
- (d) こうした民族の国家の一つ、大モンゴル国(モンゴル帝国)で用いられた
君主の称号を何と
いうか。
- (e) これがとなえたスローガンは何と
いうか。

問 4 文中の~~~~線部(イ)～(ロ)に関する以下の問に答えよ。解答は番号で別紙の解答欄に記入せよ。

- (イ) この語を用いて後世もっともよく批判されるのが、則天武后(武則天)である。彼女に関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
 - (1) 唐高宗の皇后であった。
 - (2) 周(武周)王朝をひらいた。
 - (3) 正式に皇帝(女帝)となった。
 - (4) 科挙官僚を重用した。
 - (5) 安史の乱に直面した。
- (ロ) このような女性の行動を律する絵画つきの道德書として、魏晉南北朝時代の『女史箴図』がある。その作者とされる人物はどれか。
 - (1) おうぎし 王羲之 (2) こがいし 顧愷之 (3) 寇謙之
 - (4) 陶潜(陶淵明) (5) ぶつとちょう 仏図澄
- (ハ) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。
 - (1) トルコ系を中心とする民族である。
 - (2) ぼっかい 渤海を滅ぼした。
 - (3) 二重統治体制をしいた。
 - (4) 独自の文字を生み出した。
 - (5) 「遼」の国号も用いた。

(二) これに関する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 新法党と旧法党が対立した。
- (2) 「靖康の変」において皇帝が捕虜にされた。
- (3) 「北虜南倭」に苦しんだ。
- (4) 南宋は臨安(杭州)を首都とした。
- (5) 最終的には元^{げん}によって滅ぼされた。

(ホ) これに関する以下の短文 i ~ iii の正誤の組み合わせが正しいものはどれか。

- i 『三国志演義』などの小説が普及した。
- ii 『天工開物』などの科学技術書が作られた。
- iii ユークリッド(エウクレイデス)の著作が『幾何原本』として翻訳された。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) i—正 ii—正 iii—正 | (2) i—正 ii—正 iii—誤 |
| (3) i—正 ii—誤 iii—正 | (4) i—正 ii—誤 iii—誤 |
| (5) i—誤 ii—正 iii—正 | (6) i—誤 ii—正 iii—誤 |
| (7) i—誤 ii—誤 iii—正 | (8) i—誤 ii—誤 iii—誤 |